

# 社会・環境報告書 2015



## セメダイン株式会社

本社事業所 〒141-8620  
東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー  
☎(03) 6421-7411

大阪事業所 〒542-0081  
大阪市中央区南船場1-16-10 大阪岡本ビル  
☎(06) 4964-5330

名古屋事業所 〒464-0026  
名古屋市千種区井上町34  
☎(052) 781-3166

札幌営業所 ☎(011) 271-4929

仙台営業所 ☎(022) 287-3611

福岡営業所 ☎(092) 273-2070

<http://www.cemedine.co.jp/>

商品に関するお問い合わせ先: 接着技術相談センター  
☎0120-58-4929 (土曜日・休日を除く10:00~12:00、13:00~17:00)



この社会・環境報告書には、有害なVOC(揮発性有機化合物)成分が含まれていない植物油インキ、印刷時に浸し水を使用せず同じくVOCを大幅に低減する水なし印刷が採用されています。



私たちセメダインは、  
接着に関する技術で社会に貢献します。

## Index

- 01 イントロダクション
- 02 目次
- 03 会社の概要
- 05 私たちの暮らしに身近なセメダイン製品
- 07 トップメッセージ

**11** 特集1 世界中に安心・安全な「くっつける」をお届けします。

**13** 特集2 バリューチェーンで見るセメダインの「ものづくり」。

**15** 特集3 100周年へつなぐセメダインブランド。

**17** 特集4 女性の力をセメダインのチカラに!

- 19 セメダインのCSR
- 21 CSRマネジメント
- 23 お客様・取引先の皆様
- 25 株主・投資家の皆様
- 26 社員とともに
- 30 地域社会とともに
- 32 化学物質の適正管理
- 34 環境に配慮した製品の開発
- 36 環境への取り組み
- 37 環境マネジメントの定量的評価
- 38 事業活動と環境負荷
- 39 エネルギー使用量・廃棄物の管理
- 40 環境会計
- 41 第三者意見

本報告書の担当責任部署：  
セメダイン(株) 環境安全衛生部  
連絡先：  
〒141-8620  
東京都品川区大崎1-11-2  
ゲートシティ大崎イースタワー  
TEL：03-6421-7413  
FAX：03-6421-7416

報告の対象となる組織：本報告の対象組織は、茨城事業所（茨城工場、開発センター）、三重事業所、本社事業所となります。その他の事業所に関する場合、注記することとしています。

報告対象期間：本報告書の記載内容は、特に注記のない限り、2014年4月から2015年3月までを報告対象期間としています。

編集の基本方針：環境省「環境報告ガイドライン」(2012年度版)を参考とし、ガイドライン項目に準拠して記載しています。



表紙の写真は当社の製品を使って子供たちが作った作品です。



# 会社の概要

(2015年4月1日現在)

会社名	セメダイン株式会社
〒141-8620 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー	
事業内容	接着剤・シーリング材・粘着材・特殊塗料・コーティング剤およびその加工品の製造販売 接着および防水などに関する施工および請負
設立	昭和23年4月22日 (創業:大正12年11月)
代表取締役社長	岩切 浩
資本金	30億5,037万5千円 (東京証券取引所市場2部上場)
従業員数	265名

## 国内の事業所

大阪、名古屋、札幌、仙台、福岡

## 生産拠点

茨城工場、三重工場

## 海外の主な関係会社

- CEMEDINE THAILAND CO., LTD**  
1717-1723 Onnut RD, Suanluang  
Bangkok 10250 Thailand
- ASIA CEMEDINE CO., LTD**  
1717-1723 Onnut RD, Suanluang  
Bangkok 10250 Thailand
- 思美定(上海)貿易有限公司 / CEMEDINE SHANGHAI CO., LTD**  
200333 中国上海市普陀区岚皋路  
567号品尊国际中心B座1708室
- 台湾施敏打硬(股)公司**  
台湾新北市淡水區下圭柔山76-3號
- CEMEDINE PHILIPPINES CORP.**  
Cavite Eco-Zonell, Rosario Cavite  
Philippines 4106

Cemidine's History  
**セメダインの歴史**



工業用瞬間接着剤  
「シアノアクリレート系  
3000ゴールド」発売  
**1972**

エポキシ系標準タイプ  
「1500」発売  
**1956**

世界初一液変成  
シリコンシーラント  
「POSシール」発売  
**1982**

世界初  
無溶剤粘接着剤  
「スーパーX  
No.8008」発売  
**1992**

日本初の合成接着剤  
「セメダインC」発売  
**1938**

内外装  
タイル用弾性接着剤  
「タイルエース」発売  
**1999**

世界初テレケリック  
アクリルポリマー系  
弾性シーリング材  
「EXCELシリーズ」発売  
**2011**

一液低温硬化形  
フレキシブル導電性接着剤  
「SX-ECAシリーズ」発売  
**2010**

ウレタン樹脂  
エマルジョン系接着剤  
「PASTE」発売  
**2014**

超多用途弾性接着剤  
「スーパーX  
ハイパーワイド」発売  
**2013**

# 国内の主な関係会社

## セメダインオートモーティブ株式会社



代表取締役社長 西下邦彦  
日本の自動車業界のグローバル化や海外自動車メーカーに対応すべく、米国・中国にも拠点を置き、お客様のニーズに応える多彩な製品を開発・提供しています。  
[本社・東京営業所]  
〒141-8620 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー  
※「セメダインハンケル株式会社」から社名を変更しております。  
[名古屋営業所]  
〒464-0026 名古屋千種区井上町34  
[技術開発部]  
〒306-0221 茨城県古河市駒羽根94-2 [衣浦工場]  
〒447-0854 愛知県碧南市須磨町1-11

## セメダイン販売株式会社



代表取締役社長 市村博久  
セメダイン製品はもとより、接着剤やシーリング材の混合・塗布に使用する機械類、接着加工品などの関連商品の販売も行っています。  
〒222-0033  
横浜市港北区新横浜3-18-9 新横浜ICビル2F

## セメダイン化工株式会社



代表取締役社長 田中伸一  
当社はセメダイン(株)より技術供与を受けて接着剤、シーリング材の製造、充填包装加工を業務内容としています。当社の特徴は少量多品種生産を実施していることです。  
〒306-0204  
茨城県古河市下大野2184 セメダイン茨城工場内

## セメダインケミカル株式会社

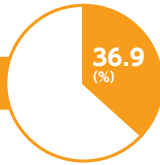


代表取締役社長 佐藤武生  
主な生産品目は建築用接着剤とシーリング材で、材料からの製造一貫作業を厳重な工程管理のもと行っています。  
〒716-1554  
岡山県加賀郡古備中央町西152-7



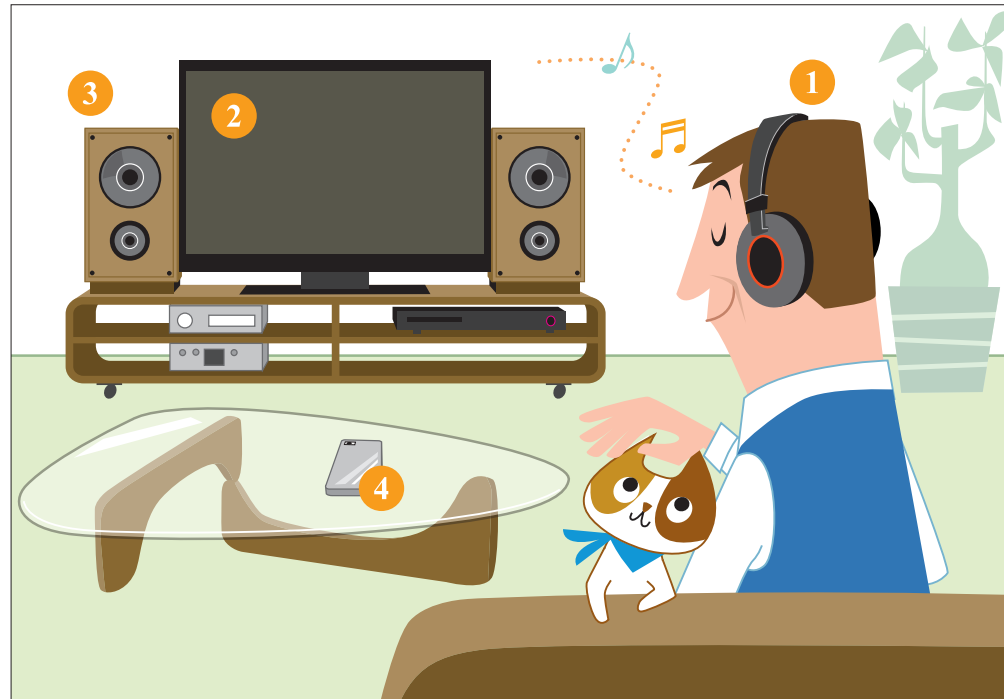
# 私たちの暮らしに身近な セメダイン製品

売上高構成比



## 工業市場

- 1 SX-ECA48**  
一液低温硬化形  
フレキシブル導電性接着剤  
【用途】マイクロスピーカー・モバイル機器の電線部の導電性接着



- 2 SX1000シリーズ**  
放熱性弾性接着剤  
【用途】CPUなど半導体デバイスの熱対策。ヒートシンクの貼り付け。放熱グリースの代替



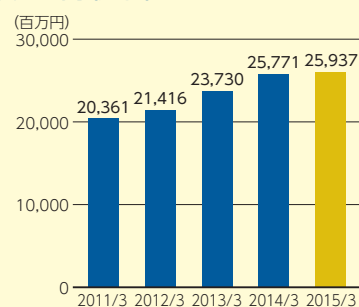
- 3 SX-BBX100シリーズ**  
リペアラブルシール材  
【用途】スマートフォン、テレビなどのシール用途、組立て



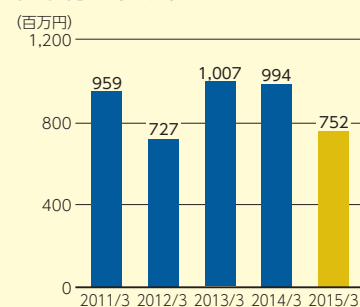
- 4 SX-UV400**  
UV硬化形弾性接着剤  
【用途】モバイル機器のカメラのACFなど、部材への追従性が必要とされる電子部品の部材補強



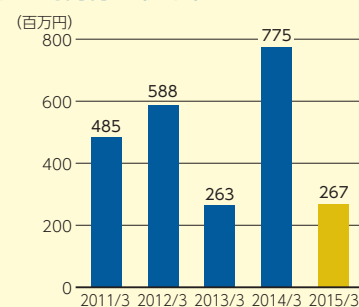
●売上高(連結)



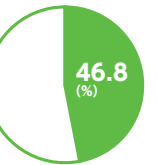
●経常利益(連結)



●当期純利益(連結)



売上高構成比



## 建築・土木市場

- 5 EXCELI II**  
ガラス廻り・金属パネル板間目地用  
テレケリックアクリルポリマー系シーリング材

【用途】ガラス廻り・外装パネル

JSIA F★★★★

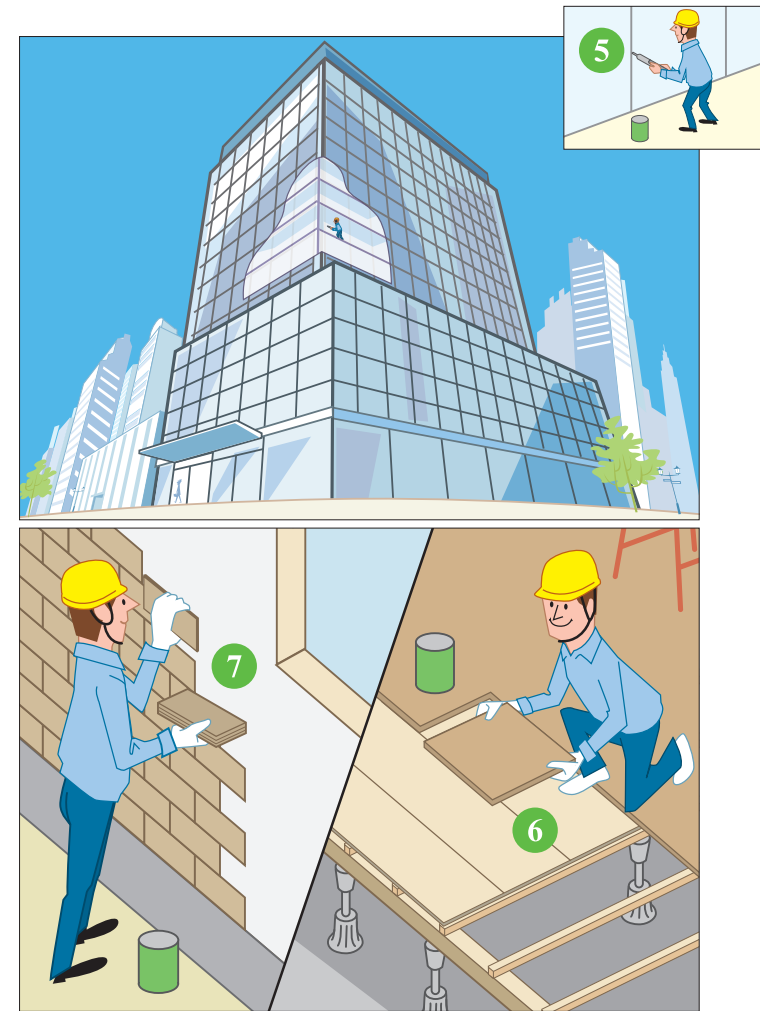


- 6 フロアロック110**  
変成シリコン系  
一液型接着剤

【用途】各種床施工用

JAIA F★★★★

JAIA 4VOC基準適合



- 7 タイルエースPro**  
変成シリコン系  
一液型接着剤

【用途】内・外装・壁タイル用の接着など

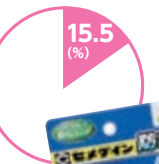
JIS A 5548・5557

JAIA F★★★★

JAIA 4VOC基準適合



売上高構成比



## 一般消費者市場

- 8 バスコークN**  
シリコン樹脂系シーリング材  
【用途】浴槽と壁(浴槽内への使用はできません)、タイル目地、洗面台と壁、シャワーヘッドの水漏れ補修など

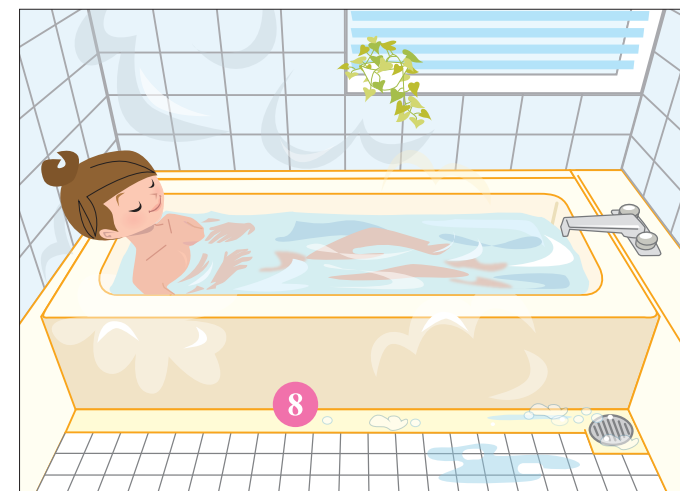


- 9 nu~no!**  
ウレタン樹脂  
エマルジョン系接着剤  
【用途】切れ布を使った手芸、体操服の名札やワッペン付けなど



- 10 シューズドクターN**  
ポリウレタン系  
一液型接着剤

【用途】靴底のすり減りの肉盛り補修、靴底のはがれの補修など





# 100周年に向けて。 つける技術、 世界のイノベーションを 支えるセメダイン。



## Q1 事業の概要と特徴について

### A1 創業以来92年、「接着」に関するあらゆるニーズに応えることで社会に貢献

当社の「接着剤」は、「モノとモノをくっつける接着剤の需要は無限にあるはずだ」との創業者の着眼からはじまりました。それまでの日本には、澱粉を主原料にした「のり」しか存在せず、夏の湿気や水分に弱く、冬は凍結して使用できなかったことから高性能な海外製品に席卷されていた国内の市場に、大正12年(1923年)に国産として初めての化学接着剤「セメダイン」を投入したところから始まります。当社の創業者「今村善次郎」は、これに「接着剤」と名づけました。以来、92年間、変わることなく「より良い製品をより多くの人々に提供することにより社会に貢献する。」という創業当時の企業理念に基づき、接着剤・シーリング材の専門メーカーとして様々な社会のニーズや、新しい用途に向けた製品を開発し、供給してきました。

今では、手芸や模型・工作など身の回りの様々な接着用途や、自動車、鉄道車両、エレクトロニクス、建築土木などあらゆる産業に製品を提供し、多くの分野で「指定材料」となり、長く愛用されています。一方で、接着の対象となる材料は常に新しい材料が誕生しており、ニーズも変化してきております。当社では社会の様々な分野で愛されてきた日本の接着剤のパイオニアとしての実績をもとに、ますます増え続ける多種多様な接着に関するニーズにお応えし続けるため、お客様の潜在的な要求に一步踏み込んだ「問題解決型」製品をより多く、より早く提供できるように様々な分野に眼を向けて課題に取り組んでいます。

## Q2 2014年度を振り返って

### A2 国内は消費増税の駆け込み需要の反動減、海外はグローバル化推進による売上げ増

2014年度は、当社の売上げのほぼ半分を占める国内の建築土木関連市場で消費税引き上げに関連した駆け込み需要の反動が長引き、新設住宅着工戸数が減少したことなどから、建築用シーリング材や内外装工事用接着剤の売上げが減少しました。

一方、工業用接着剤は導電性接着剤などの機能性接着剤の売上げが堅調であったことに加え、海外子会社の売上げ増やセメダインタイランドの連結子会社化により、前年比9.5%の増収となりました。

また、一般消費者関連市場においては新製品を投入し、製品ラインアップの拡充をはかりましたが、一方で激しい価格競争に巻き込まれ、全体では減収となりました。

このような状況の中で、当社は既存市場でのコスト対応力の強化および市場の潜在的ニーズを先取りした「問題解決型新製品」の開発を加速させ、接着に関する様々なニーズに積極的に対応していきます。

## Q3 グローバル化への取組みについて

### A3 セメディンググループ全体の品質や安全への取組み

少子化による人口減少により、国内市場が飽和、縮小していく中で、セメディンググループが事業を発展させていくためにはグローバル化は必須と考えております。一方で、お客様の海外進出に伴い、現地での当社製品の調達のご要望を多くいただいております。これらのご要望にお応えするために、建築関連事業や自動車関連事業などで、米国、中国、台湾、フィリピン、タイに販売や生産の拠点を構築してまいりました。当社がこれまで日本国内で構築してまいりました様々な関係を海外においても実現するためです。

このため、これらの拠点においても、現地の文化や法規制、社会習慣などを尊重しながら、お客様のニーズにタイムリーにお応えできるよう、現地のメンバーと協力し、当社の品質基準、安全基準、環境基準を満たした供給体制を実現しています。

## Q4 安定供給、安心・安全確保への取組みについて

### A4 材料調達から生産、供給まで安定した事業継続プラン構築の取組み

市場のニーズに適合した良い製品を開発しても、原材料が安定的に適正な価格で入手できなければ、継続的に製品を供給し続けることはできません。また、地震などの災害で生産や物流がストップした場合、速やかに再開できなければ社会の役に立つことができません。

セメダインの生産においては、国内工場3拠点や当社グループ各拠点による非常時に備えた相互バックアップ生産体制の構築など、非常時の早期復帰を実現可能にする事業継続を重視したサプライチェーンの構築をすすめています。



ます。

また、原材料については、セメダイン独自の安心・安全を考慮した基準の「グリーン調達ガイドライン」に基づいた厳正な選定を行っています。容器や包装についてもリサイクルや廃棄に考慮し、環境対応製品に相応しい製品を開発段階から作りこんでいます。

これらの原材料を供給するメーカーとは、高品質で安全、且つ安定的に供給していただけるよう、お互いに信頼できるお取引を心がけています。

安全につきましては、海外拠点を含めた当社グループ全体でリスクアセスメントなどによる安全衛生・化学物質管理活動に取り組み、事故や労働災害などを発生させない体制を強化しています。

## Q5 化学事業の地球環境に対する影響について

### A5 化学物質の環境対応や積極活用により、マイナスではなくプラスで貢献へ

化学工業が人類の生活の豊かさにも果たした役割は大きなものがあつた一方で、化学物質が環境汚染等の原因となってきたことも事実です。接着剤や塗料のうち有機溶剤を含有するものは、環境に対して有害な有機溶剤を排出するため、化学物質排出把握管理促進法（化管法）などで排出量が管理されています。

セメダインでは、住宅などに使用される接着剤について、有機溶剤を使用しない無溶剤型接着剤をいち早く開発し、業界の基準を超える自主基準、CCS（セメダイン・グリーンアンドセーフ）により接着剤の環境対策を実施してきました。また、当社で制定しているグリーン調達ガイドラインによる原材料の有害物質管理により、製品を安心してお使いいただけ、環境に対する影響も最小限となるように取

組みを継続してまいりました。最近では、地球環境や得意先の皆様の安全・作業環境に加え、国内、海外を含めた当社グループ全体の安全衛生や化学物質管理についても基準を設定し、化学物質リスクアセスメントを実施しています。以上の取組みは、化学品としての接着剤の言わばマイナス面をゼロに近づける取組みと言えます。

一方、プラスの面としましては、壊れたモノを修理して再使用するという考え方は、モノを大事に使うという「もったいない」の文化を具現化し、接着剤の活用が省資源、省エネルギーの面から環境問題に大きく貢献しています。

そのためには、接着の難しい基材同士も、しっかり接着できることが必要になってきています。従来、プロピレンは接着が難しい素材でしたが、当社はその壁をクリアする接着剤を開発しています。更に、しっかりとつける接着から、必要な場所に必要分だけ使用して、ついていてほしい時はついていて、剥がしたいときに剥がれる、剥がして再使用できる、といった3R（リユース・リデュース・リサイクル）を実現する接着剤は、無駄を出さないために重要であり、お客様からも高い評価をいただいております。また、強度と軽量化を実現できる構造用接着剤は、軽量化を通して省エネルギーに大きく貢献できる製品です。



## Q6 CSRの深化について

### A6 企業としての役割を果たすことによりステークホルダーとの関わりを深めていくことが重要と認識しています

冒頭に述べましたように、当社は創業当時から「社会の役に立つ製品をより多くの人々に提供」することにより、得意先・消費者、取引先、社員、投資家、社会の期待にお応えしてまいりました。これらのステークホルダーとの関係は、従来と比べて急速に重要なものとなってきていることを認識しています。

当社は、接着剤とシーリング材の専門メーカーとして、より良い接着剤を開発、製造、販売し、タイムリーにお客様にお届けすることにより、様々な産業への貢献や、消費者の皆様の生活を便利にすることを使命と考えています。また、これらの企業活動によって得た利益を株主や投資家の皆様、社員に還元し、継続的に社会の期待に応えることが企業としての重要な役割と考えています。

## Q7 今後の展望 ～それにあたっての具体的な戦略～

### A7 これからのセメダインはますます無くてはならない縁の下の力持ちになります

そもそも、モノとモノの接着は、つけるモノがあつてのことです。シールも、隙間、穴があつて初めて成り立ちます。その意味で、セメダインの製品は、脇役です。しかし、私たちセメダインはその役割を極め、社会のあらゆる分野で、無くてはならない、お役に立つ存在として貢献したいと考えています。

未来に向けての社会の持続性を考えると、資源、エネルギーを無駄にしないことがますます重要になってきます。私たちセメダインのアイデンティティである『あらゆるモノをくっつける』技術と、モノを大切にす文化を通して、環境にも貢献できると信じています。

私たちセメダインは、2023年の創業100周年に向けて、事業の積極的・戦略的な拡大に取り組みます。これらの実現により、より大きく社会に役立ち、環境にも貢献できることを願っています。

代表取締役社長

岩切浩





# in China 思美定(上海)貿易有限公司

## 世界の法律、規制に対する対応

最近、アジアでは、日欧米に比べて遅れを取っていた化学物質にかかわる法律の整備が急速に進んでいます。グローバルに事業展開していくためには、中国、韓国をはじめ各国の化学物質管理政策、法規制の最新動向を把握し、的確に対応することが必須となってきています。

セメダイングループとしても、その状況に沿って、現地での法規制対応力を強化し、化学物質の適正管理を実践しています。

## 環境と品質に配慮した「ものづくり」をグローバル展開するための取り組み

セメダイングループの社員一人ひとり、技術力や品質管理力に裏打ちされた「ものづくり」により、安心・安全で環境に優しく、全世界に有益な製品とサービスを提供するという理念を共有し、グローバル展開しております。

## 中国での取り組み

年々厳しさを増す化学品中国法規制の動きに対応し、特に危険化学品の取扱いについては、従業員7名のライセンス取得が必要となり、昨年全社員がライセンスを取得し今年より一部の製品を取り扱っております。中国にて事業を拡大していくためには避けては通れないことですので、今後も中国国内法とコンプライアンスを重視し事前準備とリスク回避には十分備えていきたいと考えております。



思美定(上海)貿易有限公司 董事長 武藤健一

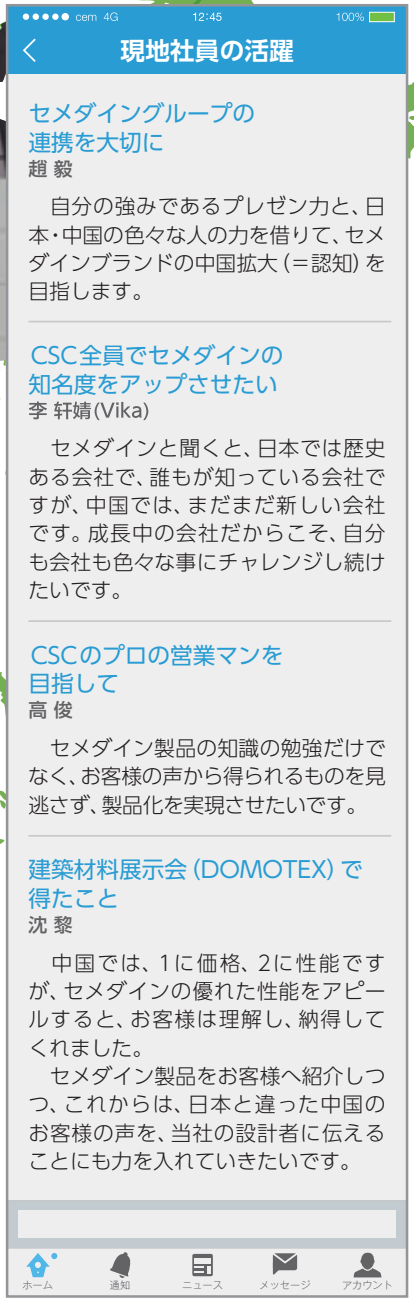
陳 騫



## 仕事への思い

セメダイン上海に入社してからもう2年半になりました。この2年間で、一番肌で感じたことは、営業にとって選択と集中が命ということです。セメダイン上海は人数が少ないので、いかに効率よく仕事をやり遂げるかが一番大事と思っています。

私が入社した頃、担当しているユーザーの7割は工業関係でしたが、今は9割が建築関係に変わりました。環境に良いという特長を武器に、中国建築市場へ売り込むには大いにチャンスがあると考えておりますので、これからも尽力して参ります。



### セメダイングループの連携を大切に 趙 毅

自分の強みであるプレゼン力と、日本・中国の色々な人の力を借りて、セメダインブランドの中国拡大(=認知)を目指します。

### CSC全員でセメダインの知名度をアップさせたい 李 軒婧(Vika)

セメダインと聞くと、日本では歴史ある会社で、誰もが知っている会社ですが、中国では、まだまだ新しい会社です。成長中の会社だからこそ、自分も会社も色々な事にチャレンジし続けたいです。

### CSCのプロの営業マンを目指して 高 俊

セメダイン製品の知識の勉強だけでなく、お客様の声から得られるものを見逃さず、製品化を実現させたいです。

### 建築材料展示会 (DOMOTEX) で得たこと 沈 黎

中国では、1に価格、2に性能ですが、セメダインの優れた性能をアピールすると、お客様は理解し、納得してくれました。セメダイン製品をお客様へ紹介しつつ、これからは、日本と違った中国のお客様の声を、当社の設計者に伝えることにも力を入れていきたいです。

## 現地のスタッフとのコミュニケーション

### CSC

思美定(上海)貿易有限公司は、現在、現地スタッフ6名、駐在2名、総勢8名の社員で会社を運営しており、少しづつではありますが、一緒に働く仲間が増えています。

駐在員は、中国では外国人であり、習慣も違えば文化も違いますので、お互いを理解するためにはスタッフとのコミュニケーションはかかせません。幸いにして、現在のスタッフは、全員日本語が堪能なため助かっています。

日頃行っているコミュニケーションの場としては、毎週月曜日の朝に、全員参加のミーティングを実施し、各自の業務連絡・報告を行い、全員で問題点等を共有するよう心掛けています。

また、仕事以外では昨年、初めての福利厚生行事の一環として、ホテルのレストランで食事を実施し、社員同士の親睦を深めています。

今年度も、レジャーまたは旅行を企画し、更に社員同士の絆を深めていきます。



# 世界中に 安心・安全な 「くっつける」をお届けします。





# バリューチェーン に見る

環境への配慮



執行役員  
技術本部長  
秋本雅人

設計開発の各段階において、原材料メーカーとも連携して環境対応材料の選定を行い、環境影響物質を制限し、より安心・安全な製品の開発に心掛けています。また、簡単に剥がせる易解体性、長期にわたって改修の必要がない高耐久性、熱などのエネルギーを必要としない速硬化性など、使用用途や顧客の要求に合わせた環境配慮製品を開発しております。



購買部長  
黒澤 茂

購買部では、新製品設計開発時より各部門との連携の中、品質はもとより環境・安全の配慮にも購買部方針のもと積極的に取り組んでいます。中でも新規原材料調達時には、お取引先様と密接にコミュニケーションを取り、当社グリーン調達ガイドラインをご理解いただき、お互いが納得できる原材料規格を制定し、製品設計に役立てています。



品質管理部長  
阿部祐輔

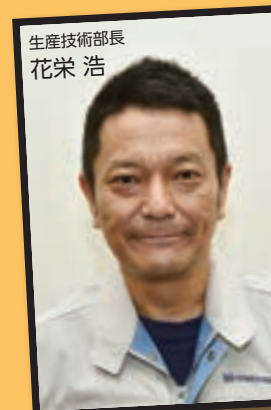
環境負荷物質 (SOC) の管理は非常に重要です。特に、ホルムアルデヒドや揮発性有機化合物 (VOC) の非使用をお約束している製品には、万一でも混入することがあってはなりません。多くの品種を同一の設備で製造している製造現場では、不純物の混入を防止できる仕組みを作り、場所や設備の特定、材料の管理状態に十分に注意し、作業しています。



開発部研究第三グループ課長  
山家宏士

## 共同研究の取り組み

当社では現在、複数の大学と共同研究を行っています。基礎研究のために割ける要員、費用や時間といった資源に限りがある中で、メーカーとしては、常に新製品や独自技術の開発を進めていかななくてはなりません。大学の豊富な知識を活用することは基礎技術の確立には有効であり、またイノベーションの短寿命化が避けられない現況では、必要に応じた外部有識者との連携は製品開発の最短ルートを模索する点からも有益と考えております。



生産技術部長  
花柴 浩

全社的な生産性の効率化や生産コスト削減活動の中で環境面への配慮を推進しています。各生産拠点や設計部門との連携により、既存生産工程の改善や新規生産プロセスの検討、生産設備導入・更新時の設備選定等を通して、生産活動時の消費エネルギーの低減はもとより、発生する廃棄物や振動・騒音等の削減にも配慮する活動を行っています。



物流部長  
鎌倉孝雄

物流の仕事は非常にダイナミックです。沢山の製品が物流センターに集められ、そして出荷されます。これらは当然ながら多くのエネルギーを使いますので、資源の枯渇、地球温暖化や大気汚染にもつながります。日々の活動を最適場所から最適輸送をすることにより、より効率的な物流活動をしていくことで環境の配慮に取り組んでいます。

トータル  
品質保証

企画・設計・調達

品質管理・製造

流通・販売

お客様

ステークホルダー  
との関わり

お客様・取引先・環境・社会

お客様・取引先・地域社会・環境・社員

お客様・取引先・環境・社会

品質向上への取り組み



接着技術  
相談センター  
部長  
堀江康信

お客様一人ひとりの思いに気づくことのできる拝聴ができていないかを常に確認しています。製品には内容物、容器、説明書が一体となって期待に応えているかが問われますが、ときには、使いにくい、分からない等のご意見が寄せられます。お客様の声は製品作りの貴重なヒントになりますので、いただいた情報は関係部署に報告し、組織的検討を促しています。



マーケティング  
グループ課長  
河野良行

企画・市場開発段階の「品質」とは、市場や顧客のニーズあるいは課題に対して解決できる「製品・ソリューション」です。「顧客のやりたい事」をいかに理解できるかが重要です。顧客の要求スペックだけをお聞きし設計するのではなく、目標達成のために共にスペックを作ることがポイントで、その提案力・交渉力も当社の「品質」かも知れません。



品質保証部長  
齋藤 敦

これまで培った確かな技術と徹底した品質管理に基づく高品質な製品を提供するために、設計初期より品質目標設計に参画し、新規技術による高機能化やユーザー視点での使い方などを考慮して、設計完了時には信頼性の実現状態を確認しています。更に量産段階では初期流動管理を実施し、お客様に安心してご使用いただける「もの作り」を行っています。



三重工場長  
遠藤 功

生産における価値創出とは、品質 (信頼性) とコストの両面から顧客満足度を考えることであり、毎年、前年度の実績を分析しながら、PDCAを回すことで、製品品質のさらなる向上を目指し、品質不良ゼロを目標に活動しております。品質への取組みが、企業価値創出に繋がりが、お客様との信頼関係がより強固になることを願い邁進いたします。



第二事業部長  
諸田一郎

内外装の建築用接着剤やシーリング材は、使用されるものが建築物であるということから、お客様からは、長期にわたる耐久性が求められる一方で、施工現場では使い勝手の良さを求められます。製品企画・設計から品質確定、そして生産まで、関係部署が、お客様にいつでも安定した品質の製品をお届けできるよう連携して取り組んでいます。

# セメダインの「ものづくり」。





### レスリング協会への スポンサー契約

当社は、2014年から日本レスリング協会へのスポンサーとしてレスリングを応援しています。

競技自体も2020年の東京オリンピックで正式種目となることが決まり、非常に盛り上がりを見せています。12月21日～23日に行われた全日本選手権には、当社社長が来賓、表彰式のプレゼンターをするなど、今後もレスリングを通じて、スポーツ振興に役立っていきたくと考えています。

昨年は、全日本選手権など国内の大きな大会を観戦する機会がありました。あまり詳しくはなかったのですが、実際に見るとだんだんルールもわかってきて、面白くなりました。番狂わせや大逆転など、迫力や臨場感はテレビで見るとは違い、大興奮でした。

また、昨年末には、当社東日本地区の代理店会の研修会・懇親会へ選手をお呼びして、レスリングについてのPRをしていただきました。サービス精神も旺盛で、大変な盛り上がりを見せました。



東京販売8課  
細谷一成



### カレンダー展入賞

当社の2015年度企業カレンダー「CEMEDINE collection」が、第66回全国カレンダー展(社団法人日本印刷産業連合会、株式会社日本印刷新聞社)にて昨年に引き続き入賞しました。

今年度は、「つくれる力」「創造する力」をテーマに、ガラス・金属・プラスチック・電気部品など身の回りの素材を当社の接着剤で実際に接着し、ネックレスやプレスレットなどユニークなファッションアイテムを作ることで、イメージを具現化する可能性を表現しています。

当カレンダーは2015年1月13日から17日まで、東京銀座画廊美術館にて展示され、たくさんの来場者に「つけて作る」ことの可能性を意識付けることができました。



### グッドデザイン賞受賞

1938年に発売された「セメダインC」が2014年グッドデザイン賞ロングライフデザイン賞を受賞しました。

日本初の国産合成接着剤である「セメダインC」は、耐水性・速乾性に優れ、仕上がりも美しく、当時市場を席巻していた外国製品を十分に凌駕する商品でした。舶来品イメージを強調した英語表記の商品名は大正～昭和期では珍しく、折からの模型飛行機ブームにも乗り当社の代名詞と呼ばれるまでに急速に普及していきました。

# 100周年へとつなぐ セメダインブランド。

### JAPAN DIY HOME CENTER SHOWに出展

2014年8月、日本最大級の住生活関連総合展示会「DIYSHOW」に出展し、ホームセンター向けの接着剤をPRしました。



ブース内ではあらゆるDIY用途で使用できる多用途型接着剤「スーパーX」、貼ってはがせる粘着剤「BBX」の実演ステージ、セメダインの接着剤を使用した工作教室を実施し、幅広い年代の皆様へセメダインの

製品を手にとっていただき、実際に接着体験をしていただきました。

また、当社の1成分形成シリコン系シーリング材「POSシール」が、1982年の発売以来、高い耐候性、耐久性で、防水充てん材のスタンダードにまで成長した実績を評価され、ヒット商品部門「ロングセラー賞」を受賞しました。

### 日本ホビーショーに出展

2015年4月に行われた、アジア最大級のとづくりホビー&クラフトフェア「日本ホビーショー」に出展しました。

ブース内では新製品「PASTE」を使用したワークショップ、プロデコリスト

を講師にお招きしてのデコ教室を行い、実際に接着剤を使用したのホビーの楽しさを体験していただきました。

また、プロデコリストによるデコ作品を多数展示し、ピンク色とキラメキが溢れる「可愛いセメダイン」空間を演出。海外メディアでも取り上げられるなど、ホビーツールとしての接着剤の情報を広く発信することができました。



## 進む新製品開発と、各市場へのPR

### 国際文具店に出展

2014年6月に行われたアジア最大級の文具見本市「国際文具展」に出展し、接着剤のように使える新感覚の水のり「PASTE」を発表。「クラフト3姉妹」としてシリーズ化した女性向けホビー用接着剤3種(パーフェクトデコ、クラフトマルチ、BBXスリム)と併せて、女性向け、若年層向けの接着剤をPRしました。

特にPASTEの、べたつきの少ない

「水のり」としての特長と、金属やプラスチックといった紙以外の素材も強力に接着できる「接着剤」としての特長を併せ持つ新機能が注目を集めており、機能性文具に関心を寄せるお客さまとの活発な情報交換が行われました。

### ネブコンジャパンに出展

2015年1月、エレクトロニクス製造・実装・検査に関するアジア最大級の見本市「ネブコンジャパン」に出展しました。

当社の世界初の接着技術「弾性接

着剤スーパーX」と、そこに放熱機能、導電機能、紫外線硬化機能、これまで接着剤が困難とされてきたポリプロピレンへの接着性能といった各付加価値を加えた機能性接着剤を展示しました。

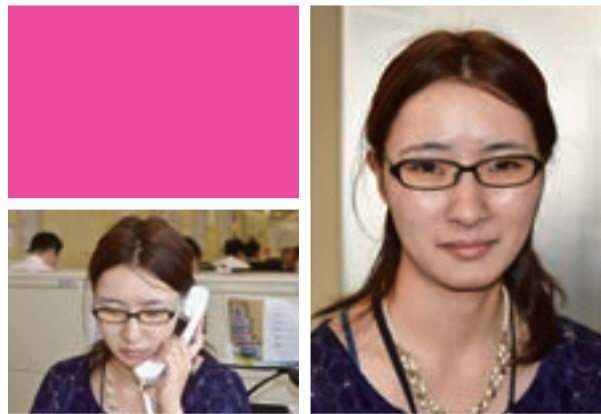
特に導電接着剤「ECAシリーズ」は、今後のエレクトロニクス製品の小型化、ウェアラブル化の可能性をさらに広げる機能として高い注目を集めており、積極的なコミュニケーションが行われ、BtoBパートナー企業としてのセメダインブランドを工業市場に向けて広く知らせました。



# 女性の力を

マーケティンググループ  
篠原泉

01



## 広告媒体への出稿や展示会の運営など

女性ならではの観点をブランディングに活かしたい。  
当初に感じたのは、接着剤=男性的なイメージが強いということでした。女性にとって接着剤は昔学校で使っただけで、今ではあまりなじみがないツールなのかもしれません。接着剤を使えば、愛着のある雑貨を捨てずに直すことができ、DIYやデコを楽しむこともできます。女性ならではの観点で「接着剤でできる素敵な体験」を丁寧に訴求することで、接着剤に対する意識を変えられると思います。このように、日々の業務の中で広告の向こうにどんなお客さまがいるか、どんなことに興味があるか、セメダインにどんなイメージを持っていただきたいか、を常に考えています。これまで接着剤を選択肢に上げなかった方々に、セメダイン=今時の便利ツールとして手にとっていただき、最終的にはセメダインブランドそのものを浸透させることが目標です。

## 環境と品質に配慮した「ものづくり」をグローバル展開するための取組み

母として、セメダインの社員として、力を発揮する。  
20年も前になりますが、私が出産をする時は育児休暇制度が始まったばかりの時代でした。自分の中で育児休暇を取りづらいと思う気持ちが強く、産前産後の休暇で仕事復帰しましたが、今では社会の環境も整い、育児休暇を取得する女性が増えています。当社でも短勤務など様々な制度でサポートしてくれますが、何より職場の皆さんの理解が深く、温かく見守ってくれる事を嬉しく思います。こうした周囲の協力を得ながら、金銭処理や納期処理などの常に緊張感を伴う業務にあたっています。突発的に発生するトラブルの処理では思いのほか時間がかかったりして苦戦することもあります。思考しながら解決しております。まだまだ勉強しなくてはならない事ばかりですが、信頼されるベストパートナーであり続けるために、今後も最適な購買活動を行っていきたく思います。

開発部 研究第三グループ  
川手千枝子

03



## 工業用途の高機能性接着剤開発など

夢は他社が追随できないものを社会に生み出すこと。  
工業用途の様々な接着剤を開発していますが、性能のみならず使いやすさなどを含め、トータルでの満足度の高いものを作りたいと思っています。そのためには、材料に関する情報から塗付方法等の接着剤の使いこなし方法まで幅広い知識が必要になります。  
また、展示会等に当社製品の技術説明員として参加することもありますが、自分が開発した新製品に興味を持っていただき、感想などのお話を直接お伺いできた時などは格別な思いがあります。こういった展示会では多くのお客様と直接お話しすることが出来ますので、とても良い刺激になります。その刺激を忘れず、今後も持続的に知識の蓄積に取り組み、他社が追随できないものを社会に生み出すことが今の私の夢です。

## 入社から退職まで「人」に関わる業務全般

モチベーションアップのために、人事ができることを考える。  
「仕事しているお父さんやお母さんは、すごいね」と子供が言ってくれたら、喜ばない親はいないでしょう。子供にとっても、お父さん・お母さんがいつも家にいる時と違う表情で動いている姿は、とても新鮮に感じるものだと思います。当社では、振替出勤日に「子供参観」を実施しており、実際にお父さんやお母さんが働く職場を見学してもらうことで親子のコミュニケーションを深めたり、働くことの大切さを学んでもらっています。  
また、人事の仕事で重要なのは社員がいきいきと働ける環境を整備することです。ワークライフバランスを考慮した制度作りや、性別や職種にかかわらず誰もが納得できる評価制度を整備することも、セメダインを支える社員のモチベーションアップのために取り組まなければいけない課題だと認識しています。

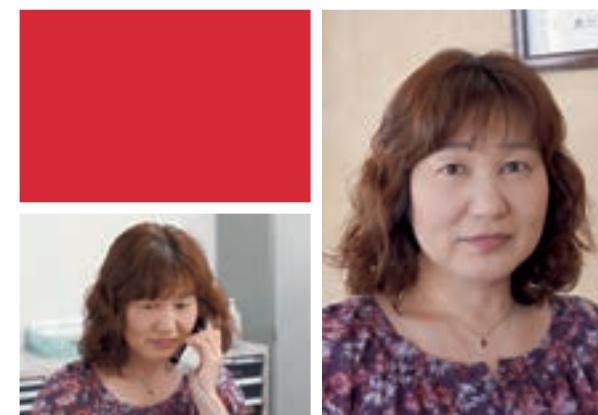
04

人事総務部 人事課  
田鹿智恵子



名古屋 販売サポートグループ  
野本直江

05



## お客様からの物流や資料送付などの様々な問合せに対応

社会に貢献できる製品、愛される会社であり続けてほしい。  
電話をとって「セメダインです」と名乗る時が一番緊張します。時に喜ばれ、時にお叱りを受けますが、お客様のニーズに沿った対応が出来た時は電話口から感謝のお言葉を頂き大変嬉しくなります。同時にセメダインに好印象を抱いてくれたのであればそれはとても大きな自信につながります。私は「建築用弾性シーリング材」のカタログが大好きです。表紙をあけると弊社の製品が使用された建物が施工例として掲載されており、見ているとなんだかとても誇らしい気分になるからです。自然災害に負けない耐久性の優れたもの、環境に配慮した安心なもの、市場に出廻るセメダイン製品が人々の生活に深い利便性をもたらすものであってほしいと思います。また、人を大切に、より良い製品を提供して社会へ貢献する基本理念のもと、これからも多くの方の手に渡り愛用され続けてほしいと願っています。

## お客様からのメールや電話でのお問い合わせ対応など

お客様の立場に配慮したご回答で、セメダインのイメージアップを。  
お客様に安心感を与えられる相談員になることが私の目標です。たとえば簡単な質問で「接着の強度」を問われた場合でも、技術職の方には定められた単位を使って回答し、一般のお客様には1㎡あたり何キロの力に耐えられます、と回答した方が、それぞれよりご理解頂きやすいと思います。業界柄女性は頼りなく感じられるのか、男性の対応をご希望される方もいらっしゃいますが、逆に対応が柔らかく話しやすかったとのお言葉を頂くこともあり、大変励みになります。もちろん難しい質問もあるため、試行錯誤の毎日ですが、お客様のご要望や懸念事項をきちんと受け止め、それに応えられる相談員になりたいと思っています。また、逆に言えば、お客様にとっては自分の対応がセメダイン株式会社のイメージそのものになる場合もありますので、大きな責任とやりがいも同時に感じています。

06

接着技術相談センター  
遠藤和香子



# セメダインのチカラに!



# セメダインのCSR

セメダイングループは、信頼される企業であり続けるために、基本理念をグループ全員が共有しています。また、セメダイングループの社員として社会的責任を果たす使命を「セメダインの5つの気持ち」として掲げ、持続的な社会づくりへの貢献を目指しています。

## 基本理念

“人を大切にし、より良い製品をより多くの人々に提供することにより社会に貢献する”

### 人とは

- 我が社の製品を買っていただくお客様を始めとして、我が社が日々のビジネスを推進していく為に売ってくれる人、運んでくれる人など、すべての取引先の皆様
- 株主の皆様
- 社員

事業を推進していく為に関与するすべての人々を大切にし、社会貢献を果たすこと



## 経営の方針

### 法令遵守の徹底

- 社会的使命としての法令遵守（コンプライアンス）を最重要事項とする
- 「セメダイン行動規範」の遵守を基に、法化社会に対応する

### 顧客重視

- お客様の求める価値の意味を正しく理解し、製品を提供する
- 提案型企業としてお客様の信頼を勝ち取るように努力する

### 利益重視

- あらゆる分野における生産性の向上
- 最適生産性の追求とその実現の為に行動すること
- 利益を生む製品、将来の柱になる製品への経営資源の集中的、選択的投入
- 変化に対して積極的、挑戦的であること



## 行動規範 (P22 参照)

## セメダインの5つの気持ち

### お客様を大切にする

- 安心・安全な商品の提供
- お客様ニーズへの対応
- 付加価値のある製品の開発

### 環境を大切にする

- 法律より厳しい環境基準の運用
- 省エネルギー
- 排出削減への取り組み

### 人を大切にする

- グループ全体の人財育成
- ダイバーシティへの取り組み
- サプライヤーとの協業

### 社会から必要とされる企業であり続ける

- 地域社会への貢献
- 適時適切な情報開示
- 接着業界のレベルアップへの取り組み

### 企業価値の継続的向上に取り組む

- コーポレート・ガバナンスの強化
- コンプライアンス、リスクマネジメント
- グループ全体の品質・安全への取り組み

## 主なステークホルダーとの関わり

私たちは、セメダイングループと関わる全ての人を大切にす理念を掲げています。様々なステークホルダーに対して私たちが出来ること、そして取り組まなければいけないこと（企業としての使命）を明確にし、最適な形でコミュニケーションを図りながら、ステークホルダーと良好な関係を構築してまいります。





# CSRマネジメント

お客様、株主・投資家、取引先、社員、社会、環境など、企業をとりまく様々なステークホルダーとコミュニケーションを図りながら、社会の期待と信頼に応えられる体制を構築してまいります。



## コーポレート・ガバナンスの充実

### コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

東京証券取引所による「コーポレートガバナンス・コード」の策定、推進などにより、コンプライアンス体制を構築し、株主や投資家を守り、企業価値を高めて、持続的な発展を達成する体制を構築することは、あらゆる企業の取り組むべき課題となっています。

当社グループでは、こうして構築されたガバナンス体制の上に、ニーズを先取りした製品の開発や継続して利益の出る企業体質を実現することにより、お客様や原材料メーカーとの安定的なお取引、従業員の雇用の継続など、当社とかわりを持つあらゆる人々に利益を提供するとともに、製品の安全や地球環境の保全についても重視し、すべての人たちに、安心して長くお付き合いしていただける企業を目指しています。



**VOICE**  
環境安全衛生部長  
五味秀樹

当社が、皆様からいただいております、地道で真面目な「接着剤とシーリング材」の専門メーカーというイメージは、一朝一夕にはできない財産と考えております。

この実績に加え、これからは環境や安全に関しても、いちばん真面目に取り組んでいる企業と評価されることを目指していきます。

### CSRを支える体制

内部監査は、取締役会により構築されたガバナンスとリスク・コンプライアンス体制の下、内部監査人協会（IIA）の「内部監査の専門職の実施の国際基準」に準拠し、経営目標の効果的な達成に役立つことを目的としております。

全部署を対象とし、内部監査規程およびリスク評価に基づいた監査実施計画を立案し、合法性と合理性の観点から、公正かつ独立の立場で、業務の遂行状況を評価しています。必要に応じ、被監査部署に改善や是正を提言するとともに、監査結果は、定期的に取締役会に報告されます。

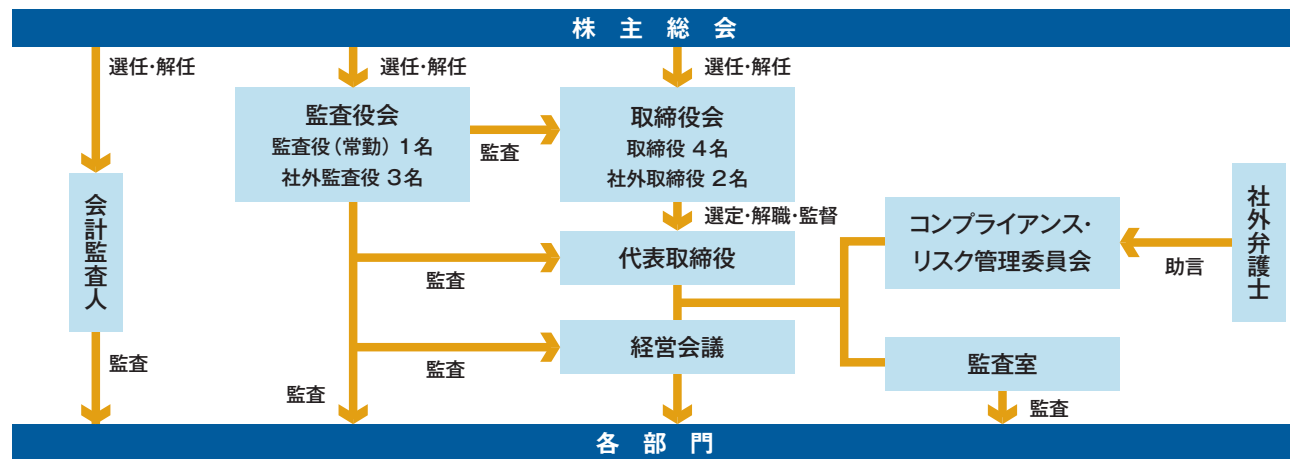
なお、監査室、監査役および会計監査人は、随時相互に情報交換を行い、相互の連携を図っております。



**VOICE**  
監査室長  
木下雅智

経営目標の効果的な達成のために、内部監査を通じ、有効な評価が行われるよう、必要な知識・技能を継続的に研鑽し、内部監査の品質向上と信頼性の確保に努めています。

### コーポレート・ガバナンス体系図



## コンプライアンスの徹底

### 基本理念

セメダイングループの役員及び社員は、業務遂行にあたり、法令・社内規程等を遵守するとともに、公正と秩序、誠実と信頼をモットーとし良識ある社会人として行動する。

### 行動規範

- 1 法令等を遵守し、業務上の都合を優先させるようなことはしません。
- 2 就業規則その他の社内規程等を守り、互いに人格を尊重し、就業環境の向上に努めます。
- 3 社会と社員の安全を最優先します。
- 4 業務遂行に当たり、リスク要因の情報収集と未然防止に努めます。
- 5 取引先には誠実かつ公正に接し、信頼される取引関係を築きます。
- 6 業務上知りえた情報や第三者の知的財産権等を適切に取り扱い、インサイダー情報、個人情報及び社内機密情報を漏洩しません。
- 7 反社会的勢力には毅然として対応し、一切の関係を遮断します。
- 8 行動規範に反する発言や行動に気づいた場合は、是正に努めるとともに、速やかに上司またはコンプライアンス・リスク管理委員会に報告します。

### コンプライアンスの推進体制について

コンプライアンス維持のための組織として、社長をチーフコンプライアンスオフィサーとするコンプライアンス・リスク管理委員会を設け、各部門長をコンプライアンスオフィサーに任命して自部門のコンプライアンス責任者としています。

コンプライアンスリスク防止のための基本規程として、セメダイングループコンプライアンスリスク管理規程を定め、グループすべての社員にコンプライアンスの徹底を図っています。特に、セメダイングループコンプライアンスリスク管理規程にて規定しているセメダイングループ行動規範は、小冊子として全社員に配布し、常に携帯を義務付けています。更に月に一度は部や課の朝礼・会議などの機会に基本理念と行動指針を読み上げて、周知と徹底を図っています。

### BCPについて

ビジネスコンティニュアスプラン（BCP）については、緊急事態の発生をリスクとしてとらえ、コンプライアンス・リスク管理委員会が主管となって推進しています。

東日本大震災の教訓をもとに、本社での緊急事態発生時の体制整備、緊急事態における各部門の役割の明確化とその準備、各工場・物流拠点との連携と指示などを明確にしたBCPマニュアルを整備しています。

また、本社以外の各拠点（大阪・名

古屋事業所、茨城・三重工場）での緊急事態発生時の初動体制なども検討を行い、シミュレーションによる全体訓練を検討しています。

### 情報管理の取り組みについて

当社の情報管理については、基幹システムを社外サーバーセンターに設置し、外部から保護された環境において、すべての業務処理を、そこで集中実施しています。

また、USBメモリ等の情報媒体による情報の移動が禁止され、情報漏えいの防止を行っています。

各システムのセキュリティ管理については、情報統括室が一括で管理を行い、外部よりのウィルスの侵入や不正アクセスの防止に努めています。

個人情報についても、各部門にて厳格に管理されており、その管理状況については、毎年監査室による内部監査により、監査が実施されています。

## リスクマネジメントの考え方

当社のリスクマネジメントとしては、社長を委員長とする内部統制委員会を設けて、会社の各機能（販売、購買、製造、決算等）について仕事の流れを明らかにし、業務記述書を作っています。

その業務に対してリスク（不正が起る要因）とコントロール（不正が起らないように行う統制行為）を調査し、特に重要なコントロールをキーコントロールと指定して公認会計士とともに内部統制委員会が監査を行い、その結果を社長名にて内部統制報告書として関東財務局へ報告しています。またこの活動とは別に、コンプライアンスリスク管理委員会にて、年に一度各部門が自らリスクの調査を行い、新たに発見されたリスクに対処し、コンプライアンスリスク管理委員会に報告しています。（コントロールセルフリスクマネジメント活動）



**VOICE**  
執行役員 品質管理本部長  
川本隆文

私たちは、当社グループの社員として、企業の社会的責任を果たすために、様々なステークホルダーに対する感度を高めて、良好な関係を築いております。

「お客様を大切に」、「環境を大切に」、「人を大切に」、「社会から必要とされる企業であり続ける」、「企業価値の継続的向上に取り組む」気持ちを大切に、CSR基盤を強固にするとともに、自分たちの強みを最大限に活かして、社会の期待と信頼に応えられる体制を構築し、社会に貢献してまいります。



# お客様・取引先の皆様

法令遵守を第一に掲げ、お客様・取引先との関係を、公正かつ健全なものとしていきます。そして、品質に優れ、安全・安心で環境に優しく、社会に有益な製品とサービスを提供することで、社会に貢献し、企業価値を高めていきます。



## 当社グループの品質保証体制

当社グループは、製造拠点を国内に5か所、海外に4か所持ち、個人のお客様向けの製品から、建築現場や電子部品、車載向けまでの多種多様な製品を作り、国内のみならず海外でも、幅広い分野でご利用頂いております。お客様に、安全な製品を確かな品質でご提供できるよう、ISOによる品質管理システムを基に運用、継続しておりますが、今後も水準を高めつつ、当社を取り巻く環境の変化に対応すべく、見直しも行っていきます。

供給される仕組みになっているか、日々管理、改善指導を行っています。



ACC(タイ)での現場指導



ACC(タイ)での品質監査



**VOICE**  
品質保証部  
品質保証グループ課長  
黒田典秀

当社は、アイテム数が多く、それに伴って管理しなければならない検査、評価、事務作業量が膨大で、また、お客様からの製品の品質に関する問い合わせや評価依頼、更にはパッケージの表記からお客様のお手元に届くまでの物流上の事故などに至るまで、その改善、対策の業務も担っております。これも、お客様に安心してご利用いただくために、全員一丸となり奮闘しています。

## 当社グループへの品質保証監査・査察の実施

当社製品は、多岐にわたるため、その原材料、副資材も膨大な品種になりますが、各取引メーカーからの原材料、副資材の受入れチェックを行うとともに、各工場への監査まで行い、安定した品質のものを安定的に

## 国内の品質管理体制

セメダイン茨城工場、三重工場は、品質マネジメントシステムの国際基準とされるISO9001を取得し、長年にわたって維持を継続して、品質管理の基準としています。

製品の品質管理のもう一つの基準として、用途、種類ごとに定められているJIS規格がありますが、当社は、建築用、木材用接着剤、建築用シーリング材、一般工作用接着剤の計11規格を取得して、製品作りに活かしています。

当社の代表製品の一つである「セメダインC」も、一般工作用接着剤のJIS認証製品です。また、グループ会社であるセメダインケミカル株式会社

(岡山工場)も当社製品を製造するため、同等の品質管理体制を整備しています。ISO認証は取得していませんが、社内の管理基準は当社と同等としています。また、建築用接着剤、建築用シーリング材の3規格の認証を取得し、セメダインと同じJIS製品を製造できる体制としています。

## 第三者監査への対応

近年は、製造のプロセスが妥当であるかを重要視し、そのプロセスで製造された製品が、なおかつ品質規格を十分に満足していることを要求されるお客様が増えています。製品の製造工程の確認に工場を訪問され

るお客様も増えていますが、その都度、直接の言葉でご指導を頂き、それに基づいて工程、設備の改善を進めることで、よりよいもの作りにつなげることができると考えています。

お客様から頂いたご指摘は、他のお客様の要求にも通じる場合が多いことから、水平展開や標準化を念頭において対応を進めています。直接工場をご覧頂いて、安心して頂けることが、「信頼されるもの作り企業」の条件であると認識して、今後も改善活動を継続してまいります。

## 物流上での安全配慮

一般汎用品・危険物品・劇物品・冷蔵品、製品の特性も高度化し、当社では、「保存」・「お届け」のそれぞれの要因を考慮し、最善の体制にてニーズに合った物流を行っています。近年、温暖化になったことから冷蔵輸送品も多彩となり、品質保持と合わせ、安全と環境にも配慮し、お客様へのサービスに努めています。



**VOICE**  
物流部  
物流管理グループ課長  
金井高志

専門物流会社と物流システムの一元化を提携し、全国物流ネットワークにて、無理の無い物流を築きました。北海道・茨城・三重・九州に拠点をもち、システム化された適正在庫管理運営により、納品リードタイムを最大限に縮め、お客様への納期短縮と危険回避に努めたセメダイン物流を、今後も積極的に推進してまいります。

## 安定調達の推進

当社では、生産材の適切な品質の確保や継続的な取引先としての経営状況の把握、そして安全調達を推進するため、取引先様とは、取引基本契約の締結、材料の仕様書取り交わし、公平・公正な購買取引を通じて、協力と信頼関係の構築に努めています。

## 高品質モノづくりを目指す各工場の取組み

### PICK UP 茨城工場

良いものを、可能な限り低コストで、早く安定的に作り、お客様に満足していただける製品をお届けすることが、工場の重要な使命です。茨城工場では、製品品質のみならず、各製造プロセスの品質が重要との考えに立ち、標準類、製造記録、工程における出来栄検査など、工程ごとに品質がチェックされるようになっており、常に改善活動を継続し、より良いもの作りに取り組んでいます。

**VOICE**  
茨城工場製造課長  
新田俊之



良い製品とは、どのようなものかを追及していくことが、工場の永遠のテーマとも言えます。お客様が求めている性能を有していることはもちろん、使い勝手がよいこと、コストパフォーマンスが良いこと、いつでも入手できることなど、また、地球環境への負荷が少ないことなども含まれるものと思われま。日々着実な活動を行うことによって、茨城工場の製品は高品質だとお客様にご満足いただけるモノづくりを目指してまいります。

### PICK UP 三重工場

三重工場では、建築用弾性接着剤及びシーリング材を中心に年間約10,000t生産しています。三重工場の特長は、原材料投入から充填・納庫まで、一貫通貫生産設備を導入して、不良品の流出がないよう材料の受入検査から各工程毎の中間及び最終検査を実施しており、品質保証部や品質管理部等の関連部署と連携して、更なる品質向上に取り組んでいます。

三重工場では、品質向上を目指して、多種の教育を実施しています。社員に必要な資格取得や講習受講を実施することで、品質に対する意識の高揚を図り、お客様によりよい製品をお届け出来るよう努力しています。また、品質のみならず環境や安全衛生にも力を入れ、各々の委員会及び活動を通じて、今後も全力でお客様のご要望に応えられるよう努力してまいります。

**VOICE**  
三重工場総務課長  
宮崎 哲



当社独自の厳しい化学物質管理基準である「グリーン調達ガイドライン」に適合した、安心・安全な原材料の安定調達に向けて、取引先様との信頼関係の構築に積極的に取り組んでまいります。

**VOICE**  
購買部課長  
桐木清治





# 株主・投資家の皆様

当社グループの社員一人ひとりは、企業理念を通じて価値観を共有し、活動しております。当社をより良く理解していただくために、株主・投資家の皆様には、適時・適切な情報開示を行うとともに、IR活動に努めてまいります。



## 情報開示に関する基本方針

当社では、ホームページや事業報告書等を通して、株主・投資家の皆様に適時・適切な情報開示を行っております。投資判断に影響を与える決定事実や発生事実に関する情報、決算に関する情報、既に開示した重要な内容について訂正・中止等が行われた場合に情報開示を行います。

また、経営上の重要事項に限らず、トップインタビューや当社の歴史、製品に関するコラム等についても、投資家の需要に応えるべく、出来るだけ積極かつ公平に開示し、当社についてご理解いただけるよう努めております。

### 適時開示体制の概要

当社における会社情報の適時開示に係る現行の社内体制は、管理本部長を情報取扱責任者に据え、法令および東京証券取引所の諸規則を遵守し、適時適切に開示を行うよう努めております。

投資判断に影響を与える決定事実および発生事実については、情報取扱責任者を中心に開示が必要か否かを検討し、開示が必要な場合は迅速に行うよう努めております。

### IR情報の開示

当社ではホームページを利用して、広くステークホルダーの皆様向けに、決算情報やニュースリリース等の開示を適時適切に実施しております。

また、半期に一度、株主の皆様へ事業報告書を送付し、トップメッセージや事業の概況についてお知らせしています。

### IRスケジュール

- 5月 決算発表
- 6月 定時株主総会
- 8月 第1四半期決算発表
- 11月 第2四半期決算発表
- 2月 第3四半期決算発表

※公表すべき重要事実が発生した場合は、適時に情報開示を行います。

## 利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様に対する安定的な利益配当を、経営の最重要課題の一つとして認識しております。株主の皆様への利益還元を重視しつつ事業の成長及び企業体質強化のた

めの内部留保の充実を総合的に実現すべく、継続的な利益確保とバランスのとれた安定配当を行うことを基本方針としております。

## 株主総会

当社は、株主総会を株主の皆様と経営者との対話を行える貴重な場として、認識しております。そのため、株主の皆様が株主総会議事事項について検討を行う十分な時間を取るように、招集通知の早期発送やweb開示に取り組んでいます。

また、事業報告をよりわかりやすくする工夫として、報告事項のビジュアル化に取り組んでおります。



**VOICE**  
人事総務部総務課長  
荒井健太郎

株主・投資家の皆様に公平かつ適切なタイミングで有用な情報を開示することで、当社グループについて理解を深めていただけるよう心がけております。

また、今後も様々な機会を通じ、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを図り、適切な情報提供を行うことで正当な評価と信頼が得られるよう努めてまいります。

# 社員とともに

当社グループの社員一人ひとりが、能力を発揮でき、安全で安心して働くことができるように、制度・職場環境の整備を行うとともに、積極的に人材育成に取り組んでいます。



## 労働安全衛生法の徹底

### 取り組み

全ての事業活動において安全操業を継続していくため、法令遵守はもちろん、必要な自主基準を設定して安全衛生レベルの向上に努めています。各事業所においては、安全衛生活動を推進していくための組織体制を整備し、活動を展開しています。さらに、事業活動におけるすべての面で5S活動やリスクアセスメント活動などにより継続的な改善活動を行っています。

また、全従業員の心と身体の健康保持増進のため、作業環境や作業方法、化学物質の取扱い等を適切に管理するとともに衛生管理体制の充実を図り、メンタルヘルス対策を積極的に推進しています。

### 災害ゼロへの挑戦

当社は、人間尊重の理念に基づき、全ての事業場において、全員参加で安全衛生を先取りして、一切の労働災害をゼロにすることを、究極の目標とする「ゼロ災運動」を推進しています。①根底から労働災害をゼロにしていこうとする「ゼロの原則」、②危険の芽を摘み取り、安全を先取りする「先取りの原則」、③全員が一致協力して自主的自発的にやる気を出して問題解決行動を実践する「参加の原則」、これら3つの原則を実行し、ゼロ災害達成に向けて日々挑戦し続けます。

### 「安全標語(スローガン)」

慌てない 急ぐ先には危険あり ゆとりを持ってゼロ災害

### 茨城事業所

茨城事業所では、毎月の安全朝礼の最後に締めとしてこのスローガンを社員が一斉に呼称することで、安全意識を高めて業務に臨んでいます。また、年に2回、11月と3月に、事業所全体の防火訓練と防災訓練を実施しています。東日本大震災以降、地震に対する防災意識が高まり、事務所、製造現場での転倒(倒壊)、落下対策に力を入れています。

### CCC岡山工場

当工場では、「ゼロ災害」達成を目指し、社員全員参加による「危険要因の洗い出し」を実施しました。その中で、特に件数が多い危険要因から対策を立て、実行し、遵守するという地道な作業に取り組んでいます。



**VOICE**  
環境安全衛生部  
安全衛生グループ課長  
田村花都将

労働災害をゼロにするためには、安全衛生管理と職場自主活動とを一体として推進することが重要であり、経営トップ、管理監督者、第一線で働く人々全員が、それぞれの立場、持ち場で労働災害防止活動に参加し、知恵を集めて問題を解決していく、明るいきいきとした職場をつくるのが基本となります。こうした安全衛生活動を当社グループ全体で推進していくことにより、全ての人に信頼される企業を目指していきます。



**VOICE**  
茨城工場総務課  
鈴木快典

危険物を扱う工場の一員として、不測の事態にも慌てず対処できるよう、頭と身体に手順を憶えこませるべく訓練を重ね、防災体制への移行やお客様の避難誘導など、確実に実施できるよう取り組んでいきます。



**VOICE**  
岡山工場製造グループ  
難波康倫

「ゼロ災害」の目標が達成されないのはなぜ?と考えた時、社員一人ひとりの「危険に対する意識の欠如」があるのではないかと結論に至り、意識を高めるために「危険要因の洗い出し」作業をし、些細なことでも「これは危険作業に繋がるのでは?」と敏感に反応することで、早期に「危険の芽」を摘み取ることが出来るようになってきました。これからも継続していきたくと思います。



## 多様な人材が活躍できる職場づくり

### 基本的な考え方

当社においては、基本的に一般的な事務職・総合職の区別を撤廃し、同一の条件にて仕事ができることにしています。

また、学歴・性別・新卒・中途採用等は、人事制度上の区別なしに能力や実績による評価を行っています。短時間勤務の導入や育児休暇等

の子育て支援、傷病休暇等の休業者への対応、福祉共済会による各種給付や貸付制度を通じて、ワークライフバランスの推進に努めています。

### 雇用、採用の状況

当社では、新卒採用としては、今年度7名を実施しました。その内訳は技術系4名、営業系2名、事務系1名でし

た。男女比は男性6名女性1名でした。また、中途採用としては、各分野におけるエキスパートを採用し、事業の底上げを図っています。中途採用は必要に応じて採用活動を行うケースの他、優秀な人材を求めて通年を通して中途採用を受け付けており、この制度を利用して採用に至ったケースもあります。

		2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
従業員数(人)	男	228	228	225	232	234
	女	33	32	34	32	31
採用数(人)	男	7	7	5	7	6
	女	1	1	2	0	1
新卒新入社員 5年間の定着率(%)		73.0	78.9	86.1	94.4	97.3
離職率		1.1	1.1	1.1	0.7	1.4
平均年齢(歳)	男	41.2	41.1	41.3	40.7	41.4
	女	40.2	40.3	40.1	40.9	40.5
	計	41.1	41.0	41.1	40.7	41.3
平均勤続年数(年)	男	16.4	16.0	16.1	15.4	15.4
	女	18.5	18.5	18.1	18.6	17.9
	計	16.6	16.3	16.4	15.7	15.7

## PICK UP

セメダインで一年余りを過ごして感じたのは、互いを思いやり、人を育てる風土が根付いているということです。

私は経理課で仕事をしていますが、学生時代は法学を学んでおり、入社当初は会計や財務の知識は全くありませんでした。初めは不安がありましたが、先輩方がいつも気にかけて丁寧に指導をしてくださるため、安心して仕事に打ち込んでいます。

このような企業風土が新入社員の高い定着率に繋がっているのではないのでしょうか。



VOICE  
管理部経理課  
北野雅浩

今年4月に入社し、工場や開発、営業等の研修を経て、現在は配属先での業務に取り組んでいます。

初めての経験で分からないことや戸惑うことも多いですが、先輩方に指導頂きながら徐々に理解を深めています。忙しい中でも、質問すれば丁寧に教えて頂ける職場の環境にとっても感謝しております。

今後も学ぶ姿勢を大切に、多くのことを吸収して、一社員としてしっかり力を発揮出来るよう努めてまいります。



VOICE  
人事総務部人事課  
塩崎由里

## ワークライフバランスの推進

当社においては、ワークライフバランスの推進を目指して、月間・年間等の残業時間・休日出勤の規制、年間完全週休二日制の実施、短時間勤務制度、フレックス勤務制度等の諸制度を整備しています。

全社員が参加している福祉共済会では、子供の入学時に給付を行うとともに教育やレジャー、大型消費財購入に対する貸付を行っております。

## リフレッシュ休暇

10年・20年・30年勤続の表彰制度があり、各勤続年数に応じてリフレッシュ休暇を付与しています。特に、30年勤続時には、リフレッシュ休暇時に旅行に行く社員に対して援助を行う制度もあります。



VOICE  
品質管理部  
品質管理グループ  
駒場幸雄

昨年、30年の節目休暇を取得しました。取得に際して、旅行と人間ドックは外せないと考え、計画を立てました。海外も考えましたが、日程的に難しく、国内の南の方(四国、九州)にし、愛媛(道後温泉)と九州(鹿児島、熊本)に2度に分けて出かけました。

人間ドックは、日程が合わず後日になってしまいましたが、所期の目的を達成し、充実した休暇になりました。

休暇中に代わりに仕事をしていただいた皆様に感謝するとともに、今後もぜひ節目休暇制度を続けていただきたいと思っています。

## 女性の活躍

女性社員がやりがいを持って活躍できる機会と環境整備を積極的に推進しております。



VOICE  
営業管理グループ  
大阪販売サポートチーム  
久禮真寿美

販売サポートチームは、お客様と直接お話しさせて頂く機会がたくさんあり、学ばせて頂くことも多い職場です。間接部門ではありますが、やりがいをきちんと見出し、お仕事させて頂いております。私は20年以上勤務しておりますが、女性がこれだけ長く働くことができるのは、職場環境の良さに加え“やりがい”“責任感”を実感できるからではないでしょうか。ますます活躍の場を広げられるよう、女性ならではの視点と感性で心遣いも忘れず、努めて参ります。



VOICE  
開発部 研究第二グループ  
西村香菜

入社8年目となりますが、最近は開発部の女性社員の数も増えてきました。担当業務も男女の差無く、電気・電子から建築、分析、特許まで様々な分野を担当させていただいています。職場環境としては、危険物の管理徹底や保護具の使用など、環境・安全に配慮しており、気になる健康面についても安心して仕事に打ち込める環境かと思えます。今後も女性ならではの発想を以って、新製品の開発へ繋げていければと考えております。

## 子育て支援制度を強化

子育てを行う社員に対しては、産前産後休暇の付与、および子育て中の社員に対しての短時間勤務制度を設けて、支援を行っています。

また、育児休暇制度もあり、子育てを行う社員に対しての支援を強化しています。

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
産前産後休暇取得数(人)	1	2	0	1	2
育児休暇取得数(人)	1	2	0	1	2



VOICE  
営業管理グループ  
名古屋販売サポートチーム  
山岸弓子

今回2度目の育児休暇を取得し、4月末より復帰しました。現在はフレックス制度を利用し、仕事と子育ての調和をとっています。

復帰したものの、その後の離職率が高い社会の状況の中、以前と変わらぬ待遇や職場仲間の支えなど、子育てしながらの働きやすさを改めて実感し、恵まれた環境に大変感謝しています。

また、フレックス・短時間勤務制度は、三歳児までとする企業が多い中、当社は小学校就学までと長く適用でき、魅力ある制度だと有難く思っています。



## 人材育成の取り組み

### 適材適所の取り組み

当社では、人事異動などを通じて適材適所の取り組みを行っています。上司による所有能力の評価や仕事への取り組み等を評価している他に、年に一回、自己申告書として、本人の自己評価や希望を上司と面談の上、人事総務部へ提出することとなっています。

それらをもとに本部長を中心として定期異動時に適材適所となるように配置を行っています。



**VOICE**  
人事総務部長  
大給近尚

人材育成は、優秀な人材を採用することがまず大事ですが、入社してからどのように育成するかによって会社の戦力に大きく影響すると考えています。

教育の方針としては、採用時に重視したポイントである自ら考え、行動する社員、フットワークが良い社員等をさらに強化して、各職場において活性化がなされるようにすることを重視しています。

特に、当社では実務の習得としてOJTによる教育が行われており、各職場の独自技術や営業手法の継承や推進を行っています。

## TOPICS

### グローバル人材の育成

近年、海外関係会社の増加とともに、グローバル人材の育成が急務となっています。人事総務部としては、外国語の教育推進として、TOEICテストの受験支援や英語教育受講の支援等を行っています。これからもグローバル人材の育成については採用も含めて重要視していきます。



**VOICE**  
思美定(上海)貿易  
有限公司技術営業課長  
松下裕介

私は、上海に駐在する前に、中国の大学に2カ月間短期語学留学をさせていただきました。そこには、中東を含むアジア諸国、ヨーロッパ、アメリカ大陸等々様々な国から留学生が集まってきており、語学だけではなく、様々な文化、風習、及び宗教観に触れることができ、日本に居ては学ぶことができないとても貴重な体験をさせていただきました。

そこで学んだことは、「グローバルで仕事をするということは、会社の理念、及びコンプライアンス遵守を根底に持ちながらも、その国々の文化や風習を十分に理解していく必要がある」ということです。

グローバル化を推進している当社にとって、特に若い人材を駐在に拘らずに、何かしらの形で継続して海外に積極的に送り出すことが、とても重要かと思えます。



**VOICE**  
生産技術部  
生産技術課長  
馬淵俊介

一般的に、フィリピンの会社では、経営者・管理職・社員の交流の場として、フェローシップ(懇親会)、アウトティング(社員旅行)、スポーツフェスタ(運動会)、クリスマスパーティという4種類の行事が、会社主催で毎年催されます。これらは、社員にとっては、非常に重要で楽しいイベントであり、規模によっては、数か月前から準備を行ったりする場合もあります。

セメダイン・フィリピン(CPC)においても、規模は小さいですが、これらの催しを毎年行っています。このようなイベントを通し、彼らの底抜けに明るい国民性に触れる事が出来ます。

新興国における事業では、仕事がスムーズに進まない事が度々起こり、多くのストレスを抱える事になりますが、彼らの純真無垢な笑顔には幾度となく癒されました。

### セメダイン・フィリピンでの年間行事



## 地域社会とともに

当社グループは、常に地域社会に根差した企業として、事業所が地域の方々のコミュニケーションを大切に、地域との積極的な交流に努めるとともに、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。



## 地域貢献活動

### 次世代育成支援

次世代育成支援とは、次世代育成支援対策推進法の施行により、平成23年4月1日から一般事業主行動計画を策定し、届け出ることが義務付けられているものです。

当社でも、平成24年11月末から平成27年3月末までの3年間、二つの目標を立てて推進してきました。

「子育てを行う社員等の仕事と家庭の両立を支援するための雇用環境の整備」に対して、目標1として、「小学校就学前の子供を育てる社員が、フレックスタイム勤務制度を利用できる措置の実施」を挙げました。

また、「その他の次世代育成支援対策」としては、目標2として、インターンシップ等の就業体験機会の提供の充実、目標3として、子供が保護者である労働者の働いているところを、実施に見ることができる「子供参観日」の定着を挙げました。

当社では、目標1～3までを、無事計画期間内に実施することができました。



### 子供参観

保護者が普段働いている職場を見学したり、当社の接着剤を使ってもらうことで、会社のことについてもっと知ってもらい、保護者の子どもに、働くことについて考えてもらうきっかけを与えることと、親子のふれあいを深める場とすることを、目的として行っています。

今年は3月に開催し、4家族5人のお子さんが参加されました。当社の接着剤を用いて、貯金箱を組み立てる工作教室を通じて、親子の触れ合いを深めました。



**VOICE**  
第一事業部  
新規事業開発グループ  
小澤譲一

恥ずかしながら、私は就職活動をするようになって、【セメダイン】が製品名であり、社名であることを知りました。私の子供たちはそのことを知っています。なぜならば、社員の子供を招待して就業体験をさせてくれる子供参観日があるからです。

セメダインがどんなことをしていて、自分の親がどんな仕事をしているのか、半日かけて本社内をまわり、最後にセメダインを使った工作で締めくくってくれました。

父親が話すよりも効果的に伝わっています。

## PICK UP

### 東京寺子屋

当社では、東京青年会議所が主催する、主に中学2学年を対象に、職業学習の一環として開催する「東京寺子屋」に協力して、講師を派遣しています。

この活動は、当社の所在地である品川区の中学校を対象に、企業で働く様々な職業の人を、講師として派遣し、話をすることで、働くことの意味やコミュニケーションの大切さ、将来に対する視野を大きく広げることを目的としています。

講師の方は、各会社からの派遣者の他に、TVディレクター、医師、警察官、放送作家、建築家、客室乗務員、会社経営者等の多彩な職業の方が、参加しています。



品川区立富士見台中学校

品川区立荏原第六中学校



## 工作教室

当社では、次世代を担う子どもたちに、つけることの楽しさと、つくことの不思議を知る機会を提供し、もの作りへの興味・関心を育成するきっかけ作りを推進することを目的に、小学生を対象にした親子工作教室を実施しています。当社では今後も「つけて作る」ことで広がる無限の可能性を子供達に知らせるべく、積極的な啓発活動を行ってまいります。



## インターンシップ

当社では、地元の大学生・高校生を中心とした学生に、就業体験の場を提供するインターンシップの主旨に賛同し、継続的に実施しています。



## 茨城工場見学

茨城工場では、地域社会との共生を目指して、工場見学の受け入れを実施しています。安全に実習を受けられ、働くことの大切さを実感していただくため、カリキュラムを実施しています。



VOICE  
茨城工場 総務課  
柴 誠

近隣の学校を対象とした工場見学を実施しています。工場見学では、接着剤の生産工程の様子を実際に見ていただくとともに、環境への取り組みを知っていただくための大切なコミュニケーションの場にもなっていますので、今後も積極的に取り組んでいきます。

## ソフトボール大会



2014年10月19日(日)に、「第34回古河市工業会親善ソフトボール大会」が開催されました。前年度優勝し、2連覇の懸かった大会となったこともあり、選手も緊張し、予選リーグでの敗退となりましたが、守備で魅せたファインプレーは記憶に残りました。また、古河市内の企業とも懇親を深めることができました。



VOICE  
人事総務部人事課  
大谷洋介

部署を越えたチームに初参加でしたが、和気あいあいと大変楽しくプレイできました。



VOICE  
茨城工場 総務課長  
北 章吾

今回初めて、新一年生への入学祝いを贈呈することができました。子供たちに渡す接着剤一つひとつに、総務課全員で「入学おめでとう」のメッセージを、地元にある「セメダイン」で製造した接着剤を身近に感じ、愛着をもって使ってもらえればと、心を込めて貼りました。



# 化学物質の適正管理

化学物質を取り扱う企業として、化学物質に対する認識を深め、適切な管理を行うとともに、製品を提供する企業責任として、製品の性状、安全性、取扱い方法を明確にし、それらを利用する全ての人達の安全と健康、および環境を守るために、様々な活動を展開しています。



## 環境管理体制

### 環境管理体制

お客様に、安心して当社製品を使用いただくための品質管理体制は、品質管理本部の下に、品質保証を担う品質保証部、工場で生産される製品の品質を管理する品質管理部があります。

これに加え、今年の4月から環境管理体制の強化の目的で、新たな品質部門として「環境安全衛生部」が設立されました。

環境安全衛生部は、製品の表示などに関する化学物質の法規制管理やグリーン調達、作業現場での化学物質リスクアセスメントなど、接着剤に使用される化学物質に関する管理と、当社グループに勤務する社員の労働安全衛生やリスク管理、5Sなどを担当する安全衛生管理という、大きく分けて二つの業務を担っております。

### 海外の製品リスク管理・規制への対応

環境に関わるリスクは多岐にわたり、法規制は世界各国において年々強化されています。

このような状況を踏まえ、当社では、環境管理グループが中心となって、新しい環境法規制に関する情報収集やリスクなどの分析を行い、法令遵守を徹底しています。

具体的には、様々なセミナー、工業会、コンサルタント等を通じて、海外の化学物質に関する最新情報を収集し、法規制の改正等に速やかに対応する体制を整えています。

近年、EU化学物質規制REACH<sup>\*</sup>の制定をはじめ、韓国・中国・台湾などで、化学物質のリスク管理強化を

目的とする法規制化が進み、東南アジア諸国でも、GHS<sup>\*</sup>が導入されるなど、各国で整備が進められています。

製品を輸出する際は必ず、米国・韓国・中国・台湾・フィリピンなど、既存化学物質リストへの収載有無の確認を徹底するとともに、製品設計の上でも確認精査するよう取り組んでいます。

既存化学物質リストへ収載されていない物質を各国へ輸出する際には、法的手続きを実施しています。

※REACH(Registration, Evaluation, Authorization and Restriction of Chemicals、リーチ、リーチ法):化学物質の安全性評価を既存・新規物質を問わず事業者が義務付けた制度。  
※GHS(Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals):化学品の分類および表示に関する世界調和システム。

### 紛争鉱物への対応について

紛争鉱物とは、コンゴ民主共和国およびその隣接国で不正に産出され

る鉱物資源のことで、この鉱物資源が武装勢力の資金源となり、紛争や人権侵害を助長していることが世界的な問題となっています。

このような状況のもと、2010年7月に成立した米国金融規制改革法(通称:ドット=ランク法)では、武装勢力の資金源を断つことを狙い、米国株式市場に上場する企業に対し、これらの地域で産出される4種の鉱物(スズ・タンタル・タングステン・金)の使用状況の情報開示を、義務付けました。

2012年8月に、法の詳細を定めた最終規則が採択され、2013年より施行したことから、米国上場企業が、報告義務を果たすためには、サプライチェーンへの調査は必須となっています。

当社では、紛争鉱物対応に真摯に取り組む、顧客への情報開示を行うことが、グローバル企業として社会的責任を果たすことであると考えています。

## 製品のリスク管理

当社は、安全で高品質な製品をお客様にお届けするために、法令、規制の遵守はもとより、予防的アプローチの観点からも、製品の品質や安全性に関する様々な取組みを行っています。

### 新製品の適切な評価

当社では、研究開発のテーマ探索から、市場分析、試作、製品化に至る4つの段階で、詳細なDR(デザインレビュー)を行っています。

有害化学物質などの使用有無の確認、顧客の要求事項への適合性、

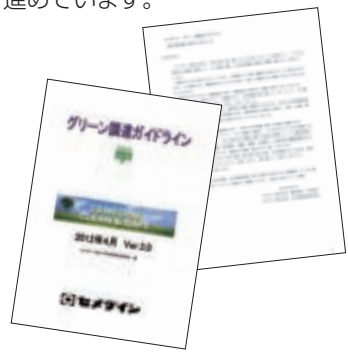
および法令対応などについては、この初期段階(DR1)から精査し、製品の安全性を第一とした開発に、取り組んでいます。





## グリーン調達 ガイドラインの実施

セメダインでは、環境に配慮した安心できる製品を提供するため、「グリーン調達ガイドライン」を定め、製品の環境負荷物質管理や、原材料・包装材料の取引先の品質・環境管理の調査を行っています。具体的には、SDSや、JUMP MSDSplus (AIS)、環境管理に対する調査表の提出を求めています。さらには、製品を開発する際の重要配慮事項として、化学物質に関する国内外の法規制を調査し、RoHS指令や高懸念物質 (SVHC) をはじめとする、使用禁止化学物質が含有していないことを確認しています。また、新製品のみならず、既存製品におきましても、随時、見直しを進めています。



## 化学物質管理委員会の実施

工場・購買・開発・営業・品質など各部門が集まり、定期的(1回/月)に“化学物質管理委員会”を開催しています。

本委員会では、国内の法規制やお客様・業界個別のグリーン調達、近年増加している輸出に対応するための各国・地域の規則など、各部門に伝達することにより、必要情報の周知・共有化を図り、迅速な対応ができるよう、各部門の役割分担を明確化しています。また、新規登録した原材料についても、各種法規制や取り扱い情報などの報告を行っています。

化学物質の取り扱いや製品の安全性など、リスク管理を先取りできるように、本委員会にて審議し、全部門へ情報を発信しています。

## 安全情報の提供

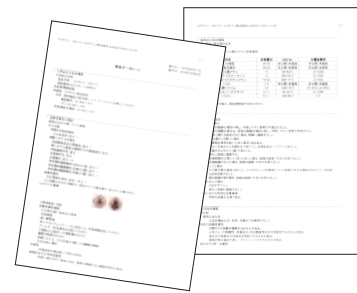
当社では、SDS(Safety Data Sheet:安全データシート)、ラベル、イエローカードなどを通じて、製品の安全情報を提供しています。

### 安全データシート(SDS)の活用

SDSは、化学品の取扱い方法や安全性に関わる情報を詳しく伝える文書であり、当社製品の安全に関する情報を提供する上で、非常に重要となっています。

そのため、顧客、販売代理店、輸送会社など、当社製品を取扱う会社へ提出しています。

当社のSDSは、全製品とも、GHSに対応したSDSとなっており、現在は、新JIS (JIS Z 7253) に基づいた見直しと、安全性情報の記載の充実を進めるとともに、確実な当社製品の化学物質上の開示、伝達を実施しています。



### ラベルの表示

製品の容器に貼付するラベルには、GHSに対応した取扱い時の注意点や安全性情報を、取扱い者に向け簡潔に表示しています。

現在は、新JIS (JIS Z 7253) に基づくSDSの改定に合わせて、表示の見直しを進めています。

### イエローカードの徹底

イエローカードとは、製品の輸送中の事故に備え、製品の適用法令、性状、応急処置や消防、警察、当社への通報連絡先などを、簡潔に記載した黄色地のカードです。

化学品を輸送する会社へ配付し、輸送時の携帯を徹底しています。

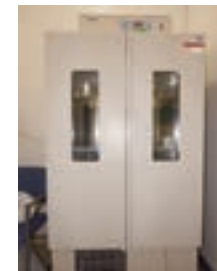


## 分析の実施と技術の向上

主要製品については、定期的に外部委託にて、RoHS指令\*対象物質やハロゲン物質などの有害成分の分析を行っています。

社内分析については、開発・工場・生産技術・品質管理など様々な部門にて、F☆☆☆☆ (JIS・JAIA・JSIA) のホルムアルデヒド分析や4VOC基準適合製品のVOC (トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼン) 分析など、多種多様に広がる分析の中から、それぞれ必要な分析を選定し、各分析の精度の向上を高めると共に、信頼される測定対応に努めています。

\*欧州連合 (EU) による、電子・電気機器における、特定有害物質の使用制限についての指令。



## 環境に配慮した製品の開発

当社グループは、化学物質に関連する法規制や各種環境方針への対応を進め、環境に優しい、安全で品質に優れた製品作りを推進し、お客様に安全で安心して使用していただけるよう、常に心掛けております。



### 製品における環境配慮

化学物質に関連する法規制、お客様の環境調達(グリーン調達)方針や、その他の要請を考慮した自主的な使用化学物質の制限等を包含したものと、グリーン調達のガイドラインを策定し、製品開発の際の重要配慮事項とするとともに、既存製品の見直しも順次進めています。

### 建築用途製品での環境配慮

企業の事業継続の観点から、ますます重要性を増してきておりますコンプライアンス管理について、以下の業務を実施しております。

第一は、地球や地域の環境保全、接着剤を使用する人たちの安全のために、できる限り安全な接着剤を供給するための原材料の化学物質管

理、第二に、日々の接着剤の製造業務に携わっている当社グループ社員の労働安全衛生や化学物質の取り扱いの安全管理を行っています。

目立たない業務ではありますが、地球環境やお客様・社員の安全を支えているという自負を持って業務を行っています。

### 建築用途製品での環境対応

当社における建築用接着剤、シーリング材の対応概要は、下記の通りとなります。

法規制等	対象物質	基準	製品への表示
毒劇物取締法	法、指定令の劇物	メタノール、トルエン、キシレン、ホルムアルデヒド等	意図的な使用の禁止 (社内基準)
労働安全衛生法	製造禁止物質	石綿 (アスベスト)	
厚労省指針	室内空気濃度指針値設定物質	ホルムアルデヒド等 14物質	日本接着剤工業会基準
		トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン	
建築基準法	放散量 (速度) 規制物質	ホルムアルデヒド	JIS規格 (建築用・木材用接着剤)
			日本接着剤工業会基準
			日本シーリング材工業会基準
			CCSマーク (自主表示)
			4VOC基準適合 (JAIA)
			F☆☆☆☆ (JIS)
			F☆☆☆☆ (JAIA)
			F☆☆☆☆ (JSIA)

### PICK UP

## 環境配慮型製品 リペアラブル接着剤 セメダインSW-129G

セメダインSW-129Gは、防水性・防塵性が求められる小型電子機器用ガasket用の室温湿気硬化型弾性接着剤です。

加熱やUVといった特別な設備等は不要で、室温で硬化し、硬化前、硬化後のどちらの状態でも貼り合わせていただいても、防水性・防塵性を発揮致します。

リペア可能ですので、従来では、不良品等は廃棄していましたが、セメダインSW-129Gをご使用いただくと、リペア可能になり、廃棄物の低減といったこれまでの接着剤にはない、お客様の立場から環境を配慮した接着剤です。

設計段階から環境影響物質の使用抑制を実施し、省資源、解体性等の資源循環を考慮した製品に取り組んでいます。

また、正確でわかりやすい環境情報開示にも積極的に努めています。併せて、お客様に喜んでご使用いただける製品づくりを目指し、環境に配慮された高機能・高性能品の追究にチャレンジし続けます。

VOICE  
開発部研究第三グループ  
渡辺 担





PICK UP

次世代型シーリング材  
セメダインEXCELシリーズ

高耐候性・高耐久性を有する画期的なシーリング材セメダインEXCELシリーズは、高性能ポリマーであるテレケリックアクリルポリマーを主成分としており、①耐候性（ガラス越し耐光接着性）に優れる、②耐久性・耐熱性に優れる、③目地周辺部非汚染性に優れるなど、シーリング材に必要とされる性能を高いレベルで有するため、カーテンウォールや外装パネルなど幅広い用途への適用が可能になりました。

近年では、意匠性を含めた耐久性の向上が建物に求められる中、美観性の維持が長期に亘って要求される部位への使用が増加してきており、特にシリコン系に見られるような「はっ水汚染」の対策として、ガラス用途への展開に大きな期待が寄せられています。

また、このシーリング材が有するさまざまな性能によって建物の改修時期を延ばすことができ、さらには外壁の洗浄回数を減らすことができるなど、建物のライフサイクルコスト軽減にも配慮した製品です。



開発部 研究第2グループ  
八田 泰志



PICK UP

新感覚のり  
PASTE (パステ)

新感覚のりPASTE (パステ) は、従来のみず糊と異なり、紙だけでなく、木や金属、ゴムやプラスチックもつけることができる、これまでにない全く新しいタイプのみず糊です。

当社が独自に開発した新技術により、見た目はこれまでのみず糊と変わりませんが、金属やプラスチックなど様々な材料に接着できる優れた接着性と耐久性を実現しています。

これまでのみず糊のように紙を貼るだけでなく、工作や補修、デコレーションなど様々なシーンで活躍する優れものです。

もちろん、PASTE (パステ) は自主基準CCSマークに適合しており、安全性も高く、シンナーのような嫌な臭いもしません。

環境への配慮とみず糊としての使いやすさを追求した「新感覚のりPASTE (パステ)」、「みず糊」の常識を変える新たな「みず糊」です。



開発部 研究第5グループ  
齋藤 知紀



環境への取り組み

大切な経営資源である地球環境を守るため、「住む人にやさしい、使う人にやさしい、環境にやさしい」製品づくりを使命として環境活動に取り組んでいます。



環境方針

2003年に、全社の環境活動の基本となる環境方針を制定しています。

基本方針

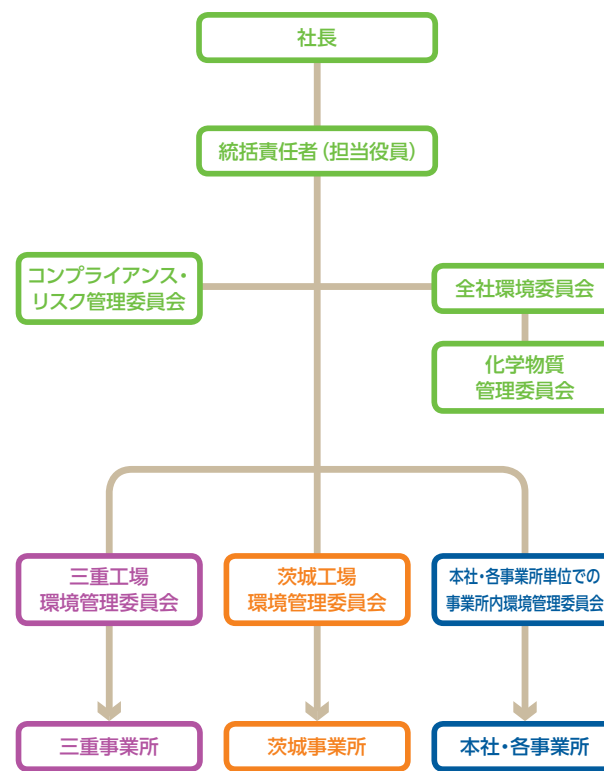
セメダイン株式会社は、全社員が環境の重要性と資源の有限性を認識し、その保全・保護・改善に不断の努力を行うとともに、環境を視野に入れた企業発展を目指し、社会的責務と事業活動を両立した環境保全企業を指向する。

行動指針

セメダイン株式会社は、「接着剤・シーリング材ならびにこれらの関連製品の開発・生産・販売」の事業活動において、その活動を地球環境の保護に調和させ、かつ持続的発展の可能な環境保全型企業実現のため、全社員が遵守すべき指針を以下に示す。

- 1 製品の開発から廃棄に至るすべての事業活動において、環境・安全・健康への影響に配慮することを経営の重点課題とし、全社挙げてこれに取り組む。
- 2 環境保護に対する社内体制の整備、環境負荷低減目標の設定、環境保護活動の推進に積極的に取り組むとともに、これらの活動を通じて環境へのさらなる意識向上を図る。
- 3 製品の全サイクルを通じ、環境保護のための省エネルギー・省資源・リサイクル・廃棄物削減などの環境負荷低減に積極的に取り組み、その継続的改善に努める。
- 4 国・地方自治体・業界などが定める環境関連規制をよく理解するとともに、必要に応じて自主基準を設定し、これらの規制・基準を遵守する。
- 5 製品の輸出や海外での事業活動に際しては、現地の環境保護・法令等に配慮し、必要な対策の実施に努める。

推進体制



環境マネジメントプログラム

各事業所の環境管理活動の指針となる全社環境マネジメントプログラムを策定し、各事業所の活動の基準としています。

全社環境マネジメントプログラム

- 1 資源・エネルギーの使用量把握と削減
  - 電力・重油の使用量を削減する。
- 2 廃棄物排出量の把握と削減
  - 廃棄物を削減する。
- 環境保全
  - 大気汚染の原因となるVOC(揮発性有機化合物)排出量を削減する。
  - 環境法令を遵守する。
  - 建物・設備の導入・更新時に環境に配慮する。
  - グリーン購入を推進する。
- 3 化学物質使用量の把握と削減
  - 有害化学物質の使用量を削減する。
  - 使用する化学物質の環境影響評価を行う。
  - 包装材料使用量を把握する。
- 4 環境配慮製品の開発
  - 環境配慮製品の開発、販売を推進する。
- 5 環境情報の公開と外部コミュニケーション
  - 環境活動内容を公開する。
  - 企業活動を通じて地域・社会へ貢献する。



# 環境マネジメントの定量的評価

環境マネジメントプログラムにもとづいた活動と実績を把握し、将来の活動目標へつなげています。



- 改善
- △ 改善されているが不十分
- × 改善できず
- 評価なし

## 全社環境マネジメントプログラムの結果

	2012	2013	2014	目 標	実 績	自己評価
CO <sub>2</sub> 排出量(トン)	5,450	6,256	5,823	—	上段は、電力、A重油、ガソリンのエネルギーから算出、下段は温対法による報告書です。エネルギー起源のCO <sub>2</sub> 排出量は433トン(6.9%)減少しました。温対法により行政に報告するCO <sub>2</sub> 排出量も440トン(7.1%)の減少となりました。尚、省エネ法によるエネルギー使用量の行政への報告値は、前年度の2,588KLから2,418KL(原油換算値)に減少しました。	○
	5,367	6,200	5,760			
電力使用量(万kwh)	457	466	497	工場部門：生産量原単位比で1%削減 事務所部門：1%削減	生産品目の変化により、電力使用量は前年度よりも増加しました。一方、工場部門の生産量あたりの原単位は15.6%の増加、事務所部門では2.2%の減少となり、目標を達成することが出来ませんでした。	×
A重油購入量(KL)	1,152	1,376	1,165	生産量原単位1%削減	購入量は前年度から減少しました。生産品目の変化により、生産量当たりの原単位で11.1%の減少となり、目標である1%削減を達成しました。	○
VOC排出量(トン)	11.1	12.8	11.8	—	日本接着剤工業会の重点削減対象9種類の使用量(購入量)に、大気への排出値として1.05%(工業会の設定した基準値)を乗じた値です。溶剤形接着剤の生産量の減少に伴い、VOC排出量も減少しています。	○
ガソリン購入量(KL)	52	42	35	—	営業車の減少とハイブリッド車への買い替えの効果で7KLの減少となりました。	○
PPC用紙購入量(万枚)	274	267	274	—	数年間、ほぼ一定の状態が続いています。	△
水使用量(千m <sup>3</sup> )	68	80	85	—	—	—
一般廃棄物排出量(トン)	44	49	69	年間100t以下	前年度より増加していますが、目標である年間100t以下を維持しています。	○
産業廃棄物排出量(トン)	761	906	830	年間生産量の5%以内	工場から排出される、製品の切り替え等で発生する産業廃棄物です。生産量に対する原単位は4.4%で、前年度の4.6%から減少しています。目標である5%以内も達成しました。	○
有害廃棄物排出量(トン)	31	36	61	年間生産量の0.5%以内	工場から排出される特別管理産業廃棄物です。生産量に対する原単位は0.33%で、前年度の0.19%から増加していますが、目標である0.5%以内は維持しています。	○
環境配慮製品の開発(件)	33	23	59	—	色、規格等の重複を除いた、開発部で新規に設計、上市された製品の数です。	○
環境配慮製品の販売量(百万円)	6,585	7,148	8,379	総売上金額の30%以上を維持	当社基準のCCSマーク品、JIS、JAJAのF☆☆☆☆品、JAJAの4VOC基準適合品の販売金額です。売上高(20,446百万円)に対する比率は約41%であり、目標である30%以上を維持しています。	○
新規使用材料の環境調達基準適合確認(件)	37	21	17	—	グリーン調達を進める中で、新しく採用する原材料の自社調達基準への適合を確認した件数です。なお、実施率は100%です。	○
環境関連の教育・訓練回数(件)	59	73	43	—	主に工場部門での環境汚染防止等を含む訓練の回数です。	○
環境事故発生回数(件)	5	0	0	—	工場内での異常発生回数です。なお、法令に抵触するような事故の発生はありません。	○
第三者監査・第三者監査(件)	4	3	2	—	特に是正を必要とする指摘はありませんでした。	○

特記のない限り、対象事業者は、本社・大阪事業所・名古屋事業所・茨城事業所・三重事業所・開発センターです。

当社はセメダイングループ全体で生産品目の最適化を進めています。2014年も顧客ニーズの変化に柔軟に対応すべく、生産の効率化(ジャスト・イン・タイム)および少量多品種生産への移行を実施しました。このような企業活動に対し、環境マネジメントシステムで掲げた目標および個別項目の運用実績については毎年、点検・検証し、継続的改善につなげるようPDCAのサイクルを運用しています。2014年度は電気使用量について目標を達成することができませんでした。廃棄物排出量、環境配慮製品の開発件数および販売量、いずれも目標をクリアしているだけに残念な結果となりましたが、マネジメントレビューを行い改善活動に努めます。なお、茨城工場は2015年2月にISO14001の維持審査を受け、3月9日付けにて適合判定を受けました。また、三重工場では2015年6月にISO14001の更新審査を受け、7月13日付けにて適合判定を受けました。



VOICE

取締役生産・物流本部長  
錦野 信

# 事業活動と環境負荷

事業活動を通じた環境への負荷を「見える化」することで、マネジメントシステムの更なる改善を進めています。



## 化学物質のインプットとアウトプット

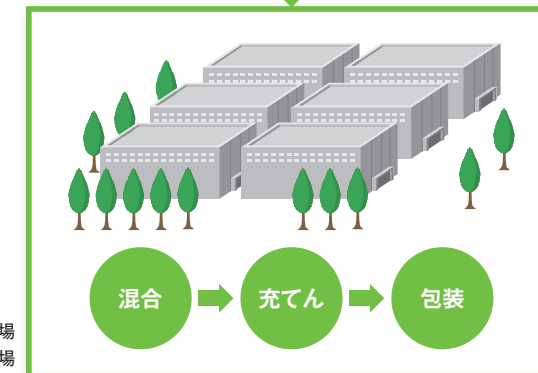
### INPUT

原材料

ゴム類	216t	有機薬品類	1,827t
樹脂類	8,949t	無機材料	11,866t
油脂・溶剤類	2,121t	その他	145t

電力	467万kwh
燃料	1,252kl
水	8.2万m <sup>3</sup>

### 工場



対象：茨城工場・三重工場  
セメダインケミカル株式会社 岡山工場

CO<sub>2</sub>排出量：電力燃料使用量より算出した数値。  
VOC排出量：日本接着剤工業会の重点削減物質使用量に一定の係数を掛けた値。  
[n-ヘキサン、シクロヘキサン、トルエン、キシレン、メタノール、酢酸エチル、アセトン、メチルエチルケトン、ゴム揮発油]

### OUTPUT

製品	24,910t	CO <sub>2</sub>	6,040t	廃棄物	1,045t
		VOC (揮発性有機化合物)	12.2t		

2014年度の茨城工場の生産量は、消費税増税前の駆け込み需要の反動減もあり、前年より減少しました。

2014年度は、生産量が前年より減少したことにより、原材料、燃料、水の使用量は前年よりも減りましたが、新規設備の稼働の増加により、電力使用量は増加しました。

また、茨城工場では、コージェネシステムを導入しており、敷地内で発電することにより、送電によるロス削減し、発電機で発生した熱エネルギーを蒸気として生産活動に利用しています。今後も環境負荷に配慮した生産に努めます。



VOICE

茨城工場長  
前田義信



# エネルギー使用量・廃棄物の管理

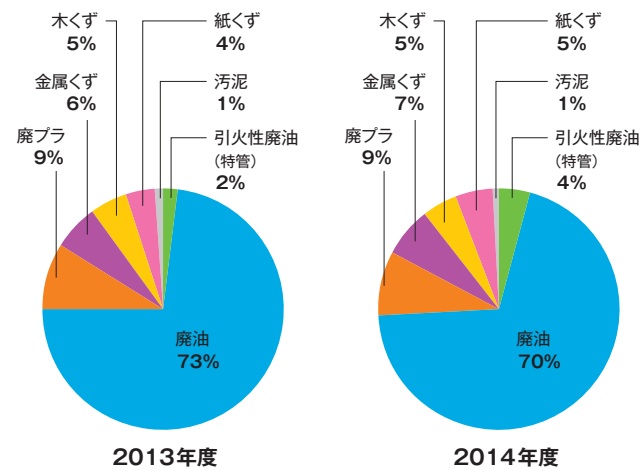
エネルギー使用・廃棄物の数値を分析し、より効率的な環境活動の実現を目指しています。



## エネルギー使用量・廃棄物実績

2014年度の廃棄物排出量は、茨城・三重工場の生産量の変動の影響で減少する結果となりました。生産部門全体による生産の効率化により、生産量1トンあたりの排出量も減少しました。今後も生産工程の改善を継続し、廃棄物の削減に取り組んでまいります。

### 2013、2014年度の廃棄物の量と内容 (茨城、三重の両工場集計)



### エネルギー使用量実績

エネルギー種類	全社		茨城工場		三重工場	
	2013年度	2014年度	2013年度	2014年度	2013年度	2014年度
電力(千kwh)	3,005	3,332	1,305	1,481	1,700	1,851
A重油(KL)	1,372	1,164	1,336	1,125	36	39
水(m³)	77,420	77,878	73,781	72,045	3,639	5,833
LPG(m³)	2,123	1,904	2,001	1,784	122	120

### 廃棄物実績

(単位:トン)

物質名	全社		茨城工場		三重工場	
	2013年度	2014年度	2013年度	2014年度	2013年度	2014年度
引火性廃油(特管)	21.3	36.1	19.4	34.0	1.9	2.1
廃油	671.0	573.6	505.3	402.0	165.7	171.6
廃プラ	76.6	70.7	55.0	48.9	21.6	21.8
金属くず	58.0	55.7	31.2	27.6	26.8	28.1
木くず	48.1	39.2	36.3	23.4	11.8	15.8
紙くず	36.7	39.7	-	-	36.7	39.7
汚泥	6.2	6.1	6.2	6.1	-	-
合計	917.9	821.1	653.4	542.0	264.5	279.1
再資源化量	188.0	235.4	169.3	167.5	18.7	67.9

## 環境負荷の低減

化学物質の取扱い及びエネルギー使用において、環境負荷の低減の実現を進めています。

### 化学物質の適正管理 PRTR対象物質実績(2014年度)

(単位:kg)

(No.)	物質名	全社			茨城工場			三重工場		
		排出量	移動量	計	排出量	移動量	計	排出量	移動量	計
1	亜鉛の水溶性化合物	0	14	14	0	14	14	-	-	-
134	酢酸ビニル	0	11	11	0	11	11	-	-	-
239	有機スズ化合物	0	228	228	0	160	160	0	68	68
265	テトラヒドロメチル無水フタル酸	0	30	30	0	30	30	-	-	-
300	トルエン	120	120	240	120	120	240	-	-	-
349	フェノール	0	310	310	0	310	310	-	-	-
392	ノルマル-ヘキサン	0	160	160	0	160	160	-	-	-
405	ほう素化合物	0	200	200	0	170	170	0	30	30
411	ホルムアルデヒド	0	9	9	0	9	9	-	-	-
	合計	120	1,082	1,202	120	984	1,104	0	98	98

PRTRとは：環境汚染の防止を目的に、各事業者が化学物質の管理に自主的に取り組むべき法律としてPRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律1999年7月公布)が制定されました。この法律の規制のひとつとして、指定された取り扱いの化学物質の環境への排出(大気や土壌への排出)や移動量(廃棄された物)を国へ届け出ることがあり、これにより事業者は自主的に削減に取り組むことが要請されています。

# 環境会計

環境活動を貨幣価値へ換算することで、環境活動の効果測定を行い環境活動の成果と課題設定に活用しています。



## 環境保全コスト

(単位:千円)

分類	2013年度		2014年度		主な取り組み内容	
	投資額	費用額	投資額	費用額		
事業エリア内コスト	公害防止コスト	6,200	7,429	6,843	6,774	●集塵器設置 ●ボイラー・空調機の更新 ●排水槽・ボイラー・浄化槽の点検 ●霞ヶ浦工業用水の利用
	地球環境保全コスト	0	1,968	14,680	1,062	●空調機の保全 ●恒温室の保守 ●茨城、三重工場空調機更新
	資源循環コスト	0	81,015	0	46,571	●廃棄物処理委託
	小計	6,200	90,412	21,523	54,407	
上・下流コスト	0	2,243	0	5,286	●容器包装リサイクル委託 ●製品の再商品化(再加工) ●グリーン購入	
管理活動コスト	0	7,098	0	5,744	●環境管理活動(ISO関連含む) ●環境教育 ●環境測定 ●有害物質分析 ●事業所緑化・美化・景観保持	
研究開発コスト	0	9,399	0	4,431	●環境配慮新製品の開発費 (分析用備品・備品消耗品の購入)	
社会活動コスト	0	23	0	3,851	●環境保全活動	
合計	6,200	109,175	21,523	73,719		

集計範囲：茨城事業所、三重事業所、本社事業所、開発センター

## 環境保全効果

(単位:千円)

分類	主な内容	金額	
		2013年度	2014年度
省エネによる削減	節電、重油使用量の削減	851	2,534
廃棄物関連	有価物の売却	6,282	8,860
環境配慮品の市場展開	環境配慮品の製品利益	1,289,382	1,919,275
合計		1,296,515	1,930,669

集計範囲：茨城事業所、三重事業所、本社事業所、開発センター



## 第三者意見

麗澤大学経済学部・大学院経済研究科教授  
麗澤大学企業倫理研究センター副センター長  
博士(経営学)

### 倍和博氏

セメダイン株式会社(以下、同社)は、CSR活動への取り組みを体系的に「社会・環境報告書」として整理されていますが、今年度はより一歩踏み込んだ内容となっています。CSR活動の定量化を試みるCSR会計と持続企業経営を促進する立場から、以下に第三者意見を申し述べます。

### 高く評価できる点

「100周年へとつなぐ」という将来のビジョンを掲げる同社は、読みやすさと分かりやすさに配慮したQ&A方式によるトップメッセージ、「人」を大切にするというキーワードでCSR活動の基本方針である「セメダインのCSR」(pp19-20)と「CSRマネジメント」(pp21-22)と特集記事などを結びつける工夫が施されており、ステークホルダーと共存する持続企業の条件に合致している点を高く評価します。

上記の特徴は内容面にも表れており、CSRに関連する諸活動がバランスよく、そして多面的に記載されている点が特筆に値します。例えば、「special feature①」(pp11-12)と「special feature④」(pp17-18)にはダイバーシティを意識する同社の基本姿勢が、「special feature②」(pp13-14)ではバリューチェーンにおいてステークホルダーと共生する取り組みをとり上げるなど、CSRに関わるすべての活動を訴求する姿勢が垣間見られます。

本報告書は、持続企業に求められる「人」のつながりを活動の基点としながら「ステークホルダーとの共生」が強く意識された内容となっており、今後の展開が大いに期待できる内容となっています。

### 今後の改善に期待する点

昨年度指摘しました海外での取り組みについては、海外事業におけるコンプライアンスへの対応やCSRマネジメント体制の強化、人材育成の充実など改善が図られています。また、事業活動に伴うESG(環境、社会、ガバナンス)に関わる各種課題に真正面から向き合い、環境と社会面については同社の取組が網羅的に記載されています。

今後の改善に期待する課題は、持続的な価値創造の実現という目標に向け、ガバナンスに関連する情報をCSRマネジメントシステムと連動させ、同社が取り組むべき課題を「プロセス」と「成果」の関係から明らかにする姿を表現してもらえれば幸いです。これからも持続企業として持続可能な社会の実現に資するCSR活動の展開を祈念しております。



2001年麗澤大学に奉職、現在に至る。日本経営会計学会理事、ICBM(International Conference on Business Management) Vice-President、経営関連学会評議会評議員他。2008年豪邦大学経営学部客員教授。著書に「CSR会計への展望」森山書店、「持続企業の条件:環境変化に打ち克つ5原則」麗澤大学出版会など多数。



## 第三者意見を受けて

執行役員  
品質管理本部長  
川本 隆文

倍先生には、三年続けて貴重なご意見を頂戴し、心より御礼申し上げます。

昨年は、「環境配慮」マインドの訴求やCSR活動の社内認知を高めている点を評価していただき、ステークホルダーとの共生に向けた今後の展開が大いに期待できる内容との言葉を頂戴しました。

今年は、海外の取り組みの充実が喫緊の課題とご指摘を踏まえ、「世界中に安心・安全な「くっつける」をお届けします。」の第一弾として、中国での取り組みを取り上げました。また、「女性の力をセメダインのチカラに!」にも焦点を当て、女性の活躍の「見える化」も行いました。

ご提言を真摯に受け止め、これからもセメダイングループの社員として社会的責任を果たす使命を「セメダインの5つの気持ち」として掲げ、持続的な社会・環境への貢献に取り組んでまいります。



工作用速乾クリアを使用して  
子供たちが作った作品です。

### 工作用速乾クリア

【特徴】牛乳パック・ペットボトル・スチロールトレイなどのリサイクル素材にも使える!

【用途】工作、手芸、ホビークラフト素材の接着・ペットボトル工作・牛乳パック工作